

令和6年度宮崎県観光入込客統計調査委託業務仕様書

1 委託業務名

令和6年度宮崎県観光入込客統計調査委託業務

2 委託期間

契約締結日から令和7年3月31日まで

3 委託業務の内容

(1) 観光地点及び行祭事・イベント名簿の作成

観光庁作成の「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」及び「観光入込客統計に関する共通基準 調査要領（平成25年3月改訂）」に基づき、(2)、(3)の調査対象となる観光地点及び行祭事・イベントの名簿作成を行う。

(2) 観光地点等入込客数調査

ア 調査目的

県内の観光地点等を訪れた人数の把握（月別入込客数）

イ 調査単位

観光地点及び行祭事・イベント

ウ 実施方法

各市町村観光主管課において観光地点の管理者及び行祭事・イベントの運営者等に確認した月別の入込客数について、調査を行う。

エ 結果の取りまとめ

調査結果を観光地点等名簿（県より提供）の様式に取りまとめるとともに、観光地点等の地域別・市町村別・分類別等に集計する。

(3) 観光地点パラメータ調査（以下「パラメータ調査」という。）

ア 調査目的

四半期ごとの観光入込客の属性別の構成比、平均訪問地点数、観光消費額等の把握

イ 調査単位

観光地点、個人

ウ 調査対象

① サンプル数

1回の調査当たり3,000サンプル以上

※ ここでいうサンプル数は回収票数ではなく、回答者を含む同行者数の合計。

※ 有効サンプルは、すべての設問に対して有効に回答している調査票とし、調査員は可能な限りその場で有効な回答内容か確認する。

※ 無効票が出ることを想定し、サンプルは多めに確保する。

※ 来場者数が極端に少ない場合を除き、年齢や性別が偏らないように

可能な限り配慮して調査を行う。

② 観光地点

県が示す県内観光地点 15 地点

エ 調査周期・調査日

四半期ごと、対象四半期の休日から 1 日実施。

① 令和 6 年 4～6 月

② 令和 6 年 7～9 月

③ 令和 6 年 10～12 月

④ 令和 7 年 1～3 月

※ 原則として県内すべての調査地点で同日実施とする。

※ 当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日を選定し、お正月、GW、お盆などは除く。

オ 実施方法

各地点調査員 2, 3 名程度による面接調査。

カ 調査票

調査票は「観光入込客統計に関する共通基準」の標準様式をもとに、宮崎県観光の特性を踏まえたものを受託者において提案し、県との協議の上で確定して受託者において印刷したものをを用いる。

※ 調査票については、日本語版の他、外国語版（英語、韓国語、簡体字中国語及び繁体字中国語）を用意する。

キ 結果の取りまとめ

① 調査結果の入力

データを整理し、無効票を排除した上で、調査結果を入力する。なお整理において補完できるデータは補完した上で、一問でも記入漏れがあった場合には当該票全体を無効票として扱う。

② 集計事項

属性別平均訪問地点数、属性別平均利用宿泊施設数、属性別観光消費額単価等について集計を行う。

(4) 「令和 5 年宮崎県観光入込客統計調査結果報告書」の作成

県が別途提供する観光入込客統計データをもとに県が発行している「令和 4 年宮崎県観光入込客統計調査結果（37 ページまで）」と同内容のものを作成する。

(5) 成果品の作成及び提出

ア 「令和 6 年度宮崎県観光入込客パラメータ調査〇月～〇月期」

取りまとめた四半期ごとの調査結果がまとまり次第すみやかに提出。

イ 「令和 5 年宮崎県観光入込客統計調査結果報告書」

県が発行している「令和 4 年宮崎県観光入込客統計調査結果（37 ページまで）」と同内容のものを提出。

（A 4 版 冊子 2 部及び複製用原稿 1 部）

※ 対象期間：令和 5 年 1 月～12 月

ウ ア及びイの電子データ

4 留意事項

- (1) 業務の実施にあたっては、県と十分協議・連絡をとり、その指示及び監督を受けなければならない。
- (2) 業務は、県との調整の中で企画提案内容に変更等があり得る。それに伴う仕様の変更、予算額の変更等については、必要に応じて委託者と協議の上、対応することとする。
- (3) 業務の遂行にあたり、発生した事故等については、受託者の責任において対処することとする。
- (4) 事故等により発生した損害は受託者が負担するものとする。
- (5) パラメータ調査にて使用した記入済みアンケート用紙は受託者において3年間保存の上で、廃棄すること。

観光入込客統計に関する共通基準

平成 25 年 3 月改定

国土交通省観光庁

はじめに

観光は、地域経済の活性化や雇用機会の増大等による国民経済の発展、国や地域を越えた交流による相互理解の増進といった意義を有しており、観光立国の実現は、我が国の21世紀の国づくりの柱と言えるものです。

観光立国の実現に向けた取組を進める上で、地域の状況を的確に把握し、信頼性の高いデータに基づく観光政策の企画立案・検証を行うための重要インフラとして、観光統計の整備は喫緊の課題となっています。

観光統計の整備について、国として取り組むべきことは論を待たないところですが、地域における観光政策の推進に当たっては、地域レベルでの観光統計の整備が極めて重要となります。一方、都道府県における観光入込客や観光消費額に関しては、従来、多くの地方自治体における調査手法が異なっていたことから、地域間で比較可能な統計として整備すべく、共通の把握方法による調査の導入が求められていたところです。

このため、「観光入込客統計分科会」（座長：東京海洋大学海洋工学部教授 兵藤哲朗氏）及び「観光消費額統計分科会」（座長：東京大学先端科学技術研究センター教授 西村幸夫氏）において、データの信頼性を確保できる調査手法・推計方法等の検討を行うとともに、「都道府県観光統計検討委員会」において、調査の実施可能性等について検討を進めてきたところです。

これらの検討を踏まえ、今般、観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定しました。また、調査実務を担当される方にご活用いただけるよう、「調査要領」を併せて作成しています。

本共通基準に則った調査を実施することで、都道府県レベルの観光入込客数、観光消費額について、季節ごとの把握・比較が可能となるものであり、地域における観光統計の整備の大きな一歩となることを期待します。

最後に、本共通基準の検討に当たっては、「観光入込客統計分科会」及び「観光消費額統計分科会」の各委員、都道府県観光統計検討委員会に参画いただいた地方自治体の皆様をはじめ、行政・民間の有識者の皆様から多大なご指導・ご協力を賜ったところです。

共通基準の策定に当たり、ここに厚く感謝の意を表する次第です。

平成 21 年 12 月

国土交通省観光庁

目次

本編	1
1. 共通基準の概要	1
1-1 共通基準策定の目的	1
1-2 観光入込客統計の実施体制	1
1-3 観光入込客統計の調査体系	2
2. 総則	3
2-1 用語の定義	3
2-2 統計の対象とする項目	5
2-3 統計量に関する留意事項	7
3. 観光入込客統計の調査手法	8
3-1 調査フロー	8
3-2 観光地点及び行祭事・イベント名簿の整理	9
3-3 観光地点等入込客数調査	12
3-4 観光地点パラメータ調査	13
3-5 既存統計調査の活用	14
4. 統計量の推計方法と公表	15
4-1 統計量の推計方法	15
4-2 統計量の共有と公表について	17
資料編	19
資料1 観光地点パラメータ調査票（標準様式）	19
資料2 観光入込客統計調査データ共有様式	21
資料3 全国取りまとめ・公表のイメージ	22

本編

1. 共通基準の概要

1-1 共通基準策定の目的

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成 18 年法律第 117 号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされています。

また、観光立国推進基本計画（平成 19 年 6 月 29 日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成 22 年に共通基準での調査の実施を目指す」とされました。

本基準は、都道府県における観光入込客に関する統計（以下「観光入込客統計」という。）について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めるものです。

1-2 観光入込客統計の実施体制

観光入込客統計の実施単位は都道府県ですが、調査内容が多岐に渡ることから、都道府県及び市区町村が相互に連携・協力して実施する必要があります。

なお、国（観光庁）は、共通基準の見直しや調査手法、推計方法の改善を行うとともに、各都道府県が各種推計を行う際に必要な既存統計の加工・提供、各都道府県の観光入込客統計の全国取りまとめを行うこととしています。

1-3 観光入込客統計の調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものです。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するものです。

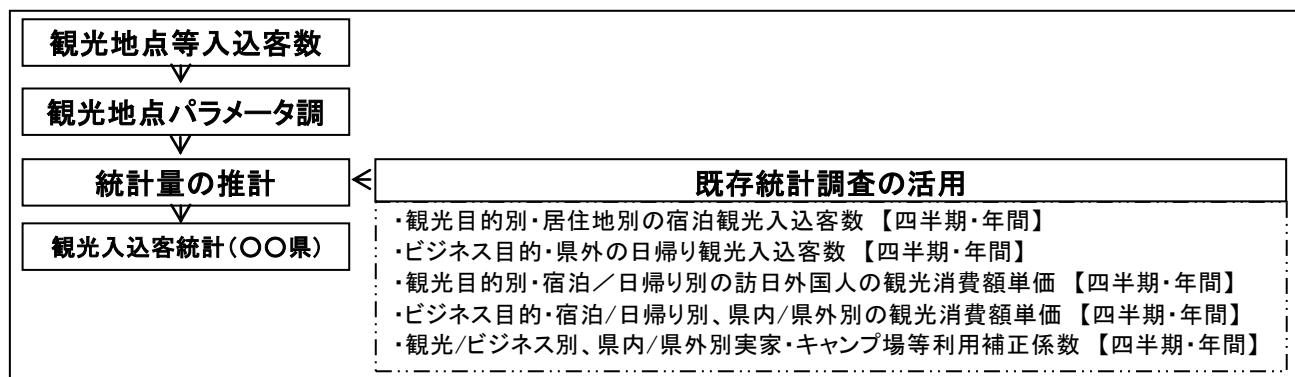
②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するものです。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用します。

図 1 観光入込客統計の調査体系



2. 総則

2-1 用語の定義

(1) 観光

本基準では余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動とします。

(2) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととします。

本基準では、3. 3-2 (2)において定める要件の全てを満たすものを集計の対象とします。

(3) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味します。

(4) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とします。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とします。

(5) 訪日外国人客

本基準では、観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とします。

(6) 観光地点等入込客数

観光地点及び行祭事・イベント（以下「観光地点等」という。）ごとの観光入込客の総数です。

(7) 観光入込客数

都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなります。

(8) 訪問地点数

観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数です。

(9) 観光消費額単価

観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額です。

(10) 観光消費額

当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額です。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出されます。

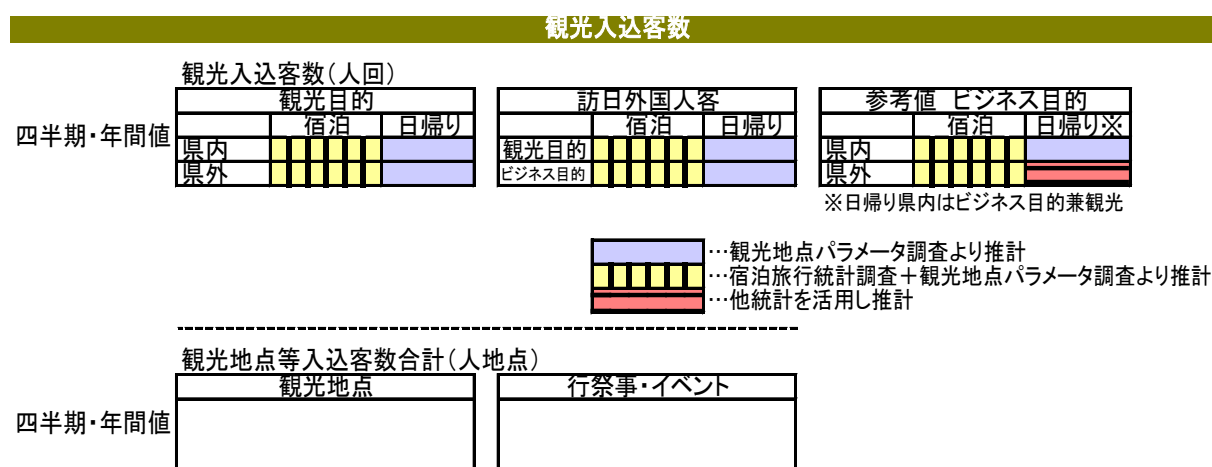
2-2 統計の対象とする項目

観光入込客統計は、都道府県単位での観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額を統計量とします。

(1) 観光入込客数（人回）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客数及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）で、区分は以下の表の示すとおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客数の総数及び県内／県外別の宿泊客数、日帰り客数です。

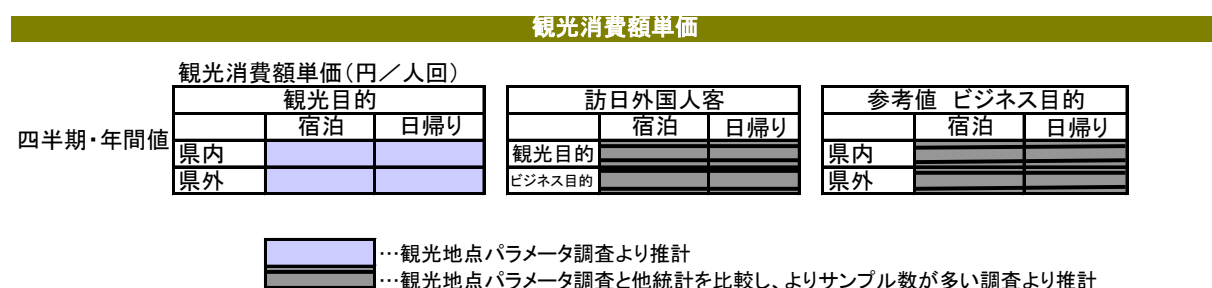
なお、単位は観光入込客の1回の来訪を1人回とします。



(2) 観光消費額単価（円／人回）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客1人回当たりの属性別平均消費額で、区分は以下の表の示すとおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客の消費額単価及び県内／県外別の宿泊客、日帰り客の消費額単価です。

なお、当該都道府県外での消費分については、当該都道府県の観光消費額単価には含まないものとします。



(3) 観光消費額（円）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客の総消費額及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）で、区分は以下の表の示す

とおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客の総消費額及び県内／県外別の宿泊客、日帰り客の総消費額です。

観光消費額

四半期・年間値	観光消費額(円／人・回)			訪日外国人客			参考値 ビジネス目的		
	観光目的			宿泊			宿泊		
		宿泊	日帰り		宿泊	日帰り		宿泊	日帰り※
	県内			観光目的			県内		
	県外			ビジネス目的		県外			

※日帰り県内はビジネス目的兼観光

$$\text{観光消費額} = \text{観光入込客数} \times \text{観光消費額単価}$$

2-3 統計量に関する留意事項

上記2-2で示した観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額の統計量は、パラメータ調査によるサンプル数、推計手法等の違いにより、それぞれ大きく4つに区分されます。

(1) 観光目的に関する統計量

観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査により推計されます。パラメータ調査において一定量のサンプル数が確保できるため精度の高い数値です。

(2) 訪日外国人客に関する統計量

観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査により推計されます。観光目的／ビジネス目的別については、宿泊では宿泊旅行統計調査の宿泊目的別とし、日帰りではパラメータ調査の結果をもとに旅行の主要な目的が観光かそれ以外かによって区分しています。なお、観光地点パラメータ調査で必要十分なサンプル数を確保できないことが予想されるため、観光目的に関する統計量よりも誤差が大きな数値となる可能性があることに留意する必要があります。

(3) ビジネス目的に関する統計量

観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査により推計されます。宿泊については宿泊旅行統計調査の県内／県外別とし、観光目的に関する統計量と同程度の精度の高い数値です。日帰りについては観光地点で実施するパラメータ調査により把握されるビジネス客が対象となるため、必要十分なサンプル数を確保できないことが予想されるため誤差が大きな数値となる可能性があることに留意する必要があります。

3. 観光入込客統計の調査手法

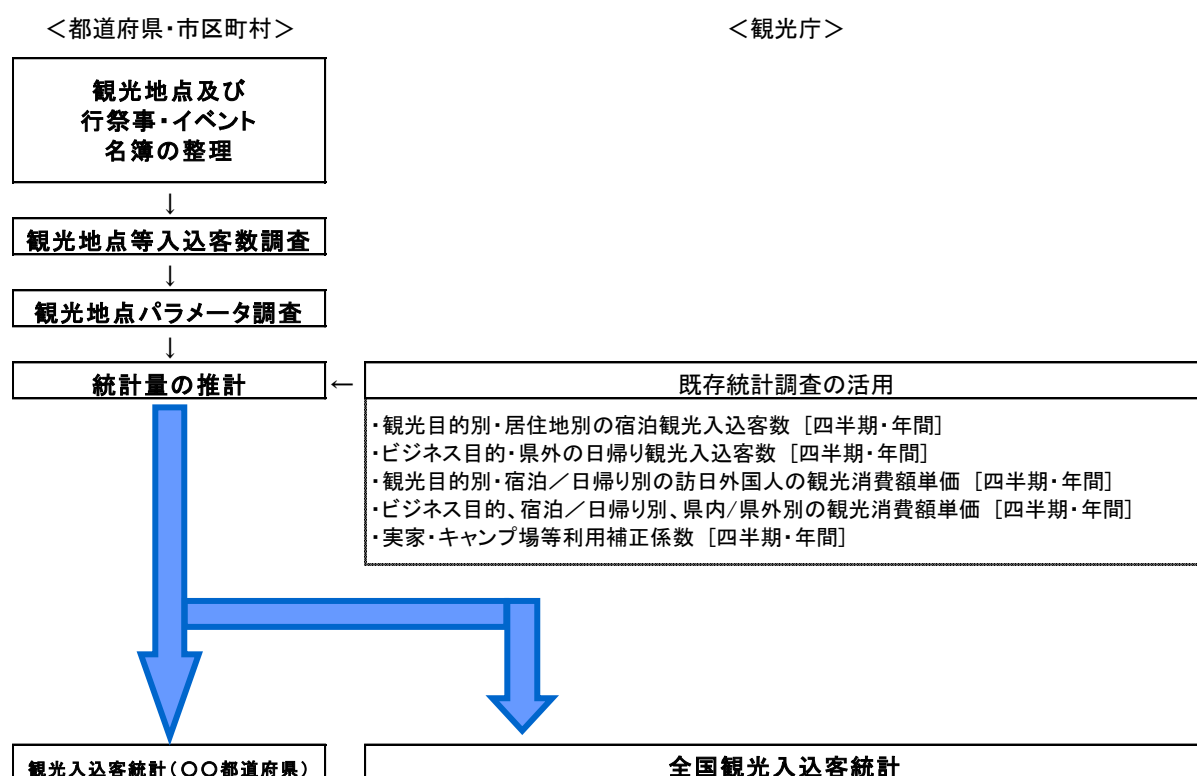
3-1 調査フロー

「観光地点及び行祭事・イベント名簿」を整理し、「観光地点等入込客数調査」と「観光地点パラメータ調査」を実施します。

これらの調査から得られるデータに加え、観光庁が既存統計を活用して加工・提供するデータを使用し、観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額の値を推計し、観光入込客統計（〇〇都道府県）として取りまとめます。

- (1) 観光地点及び行祭事・イベント名簿の整理（都道府県及び市区町村が実施します）
- (2) 調査の実施（都道府県及び市区町村が実施します）
 - ①観光地点等入込客数調査
 - ②観光地点パラメータ調査
- (3) 既存統計調査の活用（都道府県別データを観光庁が提供します）
 - ③観光目的別、居住地別の宿泊観光入込客数 [四半期・年間]
 - ④ビジネス目的、県外の日帰り観光入込客数 [四半期・年間]
 - ⑤観光目的別、宿泊／日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価 [四半期・年間]
 - ⑥ビジネス目的、宿泊／日帰り別、県内/県外別の観光消費額単価 [四半期・年間]
 - ⑦実家・キャンプ場等利用補正係数 [四半期・年間]

図 2 観光入込客統計の調査フロー図



3-2 観光地点及び行祭事・イベント名簿の整理

観光入込客統計を作成するための基本となる観光地点及び行祭事・イベント名簿（以下「観光地点等名簿」という。）を整理します。

(1) 実施時期

毎年1月1日現在で整理します。

(2) 実施方法

調査を実施する年の前年の観光地点等名簿を基に、各都道府県又は市区町村が把握している観光地点等の新設又は廃止の整理を行うとともに、その地点の管理者等に観光地点名、観光入込客数等について照会を行い名簿に整理します。

なお、本基準では次に掲げる要件の全てを満たすものを集計の対象とし、そのうち、行祭事・イベントについては②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとします。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えありません。また、観光政策上、特に重要である地点については、非日常利用割合が低くても、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えありませんが、この場合は観光地点入込客数調査における入込客数は非日常利用者の分に限りません。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

上記要件を満たさないものについて調査し、観光地点等名簿に整理しても差し支えありませんが、共通基準における集計の対象とはしません。

なお、調査年の途中で観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点等については、要件を満たすこととなる四半期から名簿に追加することとします。また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することとします。

(3) 観光地点等名簿に記載する事項

観光地点等名簿に記載する事項は、観光地点等名、所在地、観光地点等分類、観光入込客数の把握手法、観光入込客数等のほか、名簿の作成主体が必要と判断する事項とします。

(4) 観光地点等の分類

観光地点等の分類は、データの管理や利活用の観点から、大分類（2分類）、中分類（7分類）、小分類とします（表1参照）。

表1 観光地点等分類表

大分類	中分類	小分類	備考
1 観光地点	01 自然	01 山岳	広大な地域を対象とする場合は入込客数のダブルカウントに留意する。
		02 高原	湿原、原野等も含み、観光の対象となっているもの。
		03 湖沼	人造湖含む。
		04 河川	峡谷、滝等を含む。
		05 海岸	海岸、砂丘、岬等をいう。海水浴場は、スポーツ・レクリエーションに分類する。
		06 海中	自然公園法で海中公園に指定されている地区や海中景観の優れた地区等。
		07 島	離島。
		99 その他自然	エコツーリズム(自然環境を対象とし、それらを損なうことなく、それらを体験し学ぶ観光)、グリーンツーリズム(農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動)等は、ここに整理。
		02 歴史・文化	01 史跡
	02 城		天守あるいはやぐらを有する城。(復元されたものも含む。城跡は史跡で整理する。)
	03 神社・仏閣		観光利用の対象として扱っているもの。
	04 庭園		一般の方が入場可能な庭園。
	05 歴史的まち並み、旧街道		歴史的に魅力があり、観光利用の対象として扱っているもの。
	06 博物館		博物館等の定めのないものも含む。
	07 美術館		ギャラリー、絵画館を含む。
	08 記念・資料館		
	09 動・植物園		サファリパーク、鳥類園を含む。
	10 水族館		
	11 産業観光		産業観光(歴史的・文化的価値のある工場等やその遺構、機械器具、最先端の技術を備えた工場等を対象とした観光で、学びや体験を伴うもの。) 例: ワイナリー、ビール園、酒造見学等。
	12 歴史的建造物	歴史的建造物、デザインの良い建造物(橋や駅、ビル、タワー、ダム等)。歴史的文化的価値のある建造物そのものが観光利用の対象となっているもの。	
	99 その他歴史		
	03 温泉・健康	01 温泉地	温泉法に基づくもの。 「〇〇温泉」と同じ名のつくエリアの宿泊及び日帰りの温泉施設全体を一つの地点として取り扱う。なお湯畑等の観光施設を別地点としても差し支えかまわないが、重複して入込客数をカウントしないように留意する。
		99 その他温泉・健康	温泉法に基づかない温泉類似施設。スーパー銭湯等については日常利用の多寡に留意する。ヘルスツーリズム(自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態)。
	04 スポーツ・レクリエーション	01 スポーツ・レクリエーション施設	ゴルフ場、テニスコート、スケート場、プール、サイクリングコース、ハイキングコース、複合的スポーツリゾート施設等。・自然歩道、自然研究路を含む。 日常利用の多寡に注意する。(例: ・ゴルフ練習場は含まない。レジャー的要素がなく日常利用が大半を占める運動用プール等は含まない。河川敷のサイクリングコース等で日常利用者が大半を占めるものは含まない。 スポーツ観戦(野球、サッカー、メジャーゴルフトーナメント大会等)の入込は含まない。
		02 スキー場	
		03 キャンプ場	

			04	釣り場	具体的な箇所を特定できる「釣り場」を地点とする。「自然」の「湖沼」や「河川」と重複しないように留意する。			
			05	海水浴場				
			06	マリーナ・ヨットハーバー				
1	観光地点	04	スポーツ・レクリエーション	07	公園	イベントの開催やピクニック等の目的となる公園を対象とし、施設のない公園や総合運動公園で日常利用者が大半を占めるものは含まない。なお、公園等を会場とする行祭事・イベントへの参加に係る人数は行祭事・イベントに分類する。		
				08	レジャーランド・遊園地	【日本標準産業分類における定義】 各種遊戯施設により娯楽を提供する事業所をいう。 【特定サービス産業実態調査(経済産業省)における定義】 樹木、池等自然の環境を有し、かつ、有料の各種遊戯施設を配置し、客に娯楽を提供する業務を営む事業所(客が直接に硬貨・メダル・カード等を投入するものを除き、3種類以上の遊戯施設を有するものをいう。		
				09	テーマパーク	【日本標準産業分類における定義】 文化、歴史、科学等に関する特定のテーマに基づき施設全体の環境づくりを行い、各種遊戯施設により娯楽を提供する事業所をいう。 【特定サービス産業実態調査(経済産業省)における定義】 入場料をとり、特定のテーマのもとに施設全体の環境づくりを行い、テーマに関連するアトラクションを有し、パレードやイベント等のソフトを組み込んで、空間全体を演出して娯楽を提供する事業所をいう。		
				99	その他スポーツ・レクリエーション			
		05	都市型観光 —買物・食等—	01	商業施設	郊外ショッピングセンター、駅前商店街等で日常利用が大半を占めるものは含めない。		
				02	地区・商店街	朝市・市場等で日常利用が大半を占めるものは含めない。		
				03	食・グルメ	食をテーマとした観光利用の拠点。日常利用の多寡に留意すること。		
				99	その他都市型観光 —買物・食等—	農水産品等の直売所、物産館等はここに含める。		
		06	その他	99	他に分類されない観光地点	道の駅、パーキングエリア等はここに含める。ただし単なる休憩機能のみの施設は除く。		
		2	行祭事・イベント	01	行祭事・イベント	01	行・祭事	見学者、参加者すべてを入込客数に含める。
						02	花見	観光地点としての入込客と、特定の時期に集中するイベントへの入込客は、区別することが望ましい。地点の入込客のうち花見分を区分し、観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
						03	初詣	地点の入込客のうち、初詣分を区分。観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
						04	花火大会	地点の入込客のうち、花火大会分を区分。観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
05	郷土芸能							
06	地域風俗							
07	博覧会							
08	コンサート					野外コンサート含む。		
09	スポーツ観戦					参加者も含む。		
10	映画祭					施設としての映画館は含まない。		
11	コンベンション・国際会議							
99	他に分類されない行祭事・イベント					イベント会場でイベントごとの観光入込客数を集計しない場合は、ここでまとめて整理。		

3-3 観光地点等入込客数調査

(1) 調査目的

都道府県内の観光地点等を訪れた人数の把握

(2) 調査単位

観光地点及び行祭事・イベント

(3) 調査対象

全数

(4) 調査周期

四半期（1～3月、4～6月、7～9月、10～12月）

(5) 実施時点

四半期の末日

(6) 調査事項

月別入込客数

(7) 実施方法

観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に確認することにより実施する。

(8) 集計方法

観光地点等の分類別に集計

3-4 観光地点パラメータ調査

(1) 調査目的

観光入込客の属性別の構成比、平均訪問地点数、観光消費額単価等の把握

(2) 調査単位

観光地点、個人

(3) 調査対象

① サンプル数

四半期ごとに行う1回の調査では、3,000サンプル以上の回収を目標とします。なお、ここでいうサンプル数は、回収票数ではなく、回答者を含む同行者数の合計を意味します。

② 観光地点

観光地点パラメータ調査を行う観光地点は、10地点以上とし、原則として5年間固定して実施します。

③ 調査対象

行祭事・イベントについては、観光地点パラメータ調査の対象としません。

(4) 調査周期

四半期（1～3月、4～6月、7～9月、10～12月）

(5) 実施時期

四半期に含まれる休日1日で、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日とします。都道府県ごとに全ての調査地点で同日に実施することが理想的です。

(6) 調査事項

観光入込客の居住地、性別、年齢、日帰り・宿泊別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、都道府県内訪問観光地点名、都道府県内観光消費額単価等（資料1参照）

(7) 実施方法

観光地点等名簿で整理した観光地点のうち、3-2(2)の要件①②③を満たすものの中から、観光入込客数規模を考慮して選定した観光地点において、調査票（資料1を参考に作成）を用いた調査員による自計又は他計方式により実施します。

(8) 集計事項

属性別平均訪問地点数、属性別平均利用宿泊施設数、属性別観光消費額単価等について集計します（詳細は「4-1 統計量の推計方法」を参照）。

3-5 既存統計調査の活用

観光庁より以下のデータを提供します。

(1) 観光入込客数関連

- ①観光目的別、居住地別の宿泊観光入込客数 [四半期]
(観光/ビジネス) × (宿泊) × (県内/県外/訪日外国人)
- ②ビジネス目的・県外の日帰り観光入込客数 [四半期]
(ビジネス) × (日帰り) × (県外)
- ③実家・キャンプ場等利用補正係 [四半期]
(観光/ビジネス) × (宿泊) × (県内/県外)

(2) 観光消費額単価関連

- ④観光目的別、宿泊/日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価及びサンプル数 [四半期]
(観光/ビジネス) × (日帰り/宿泊) × (訪日外国人)
- ⑤ビジネス目的、宿泊/日帰り別の観光消費額単価及びサンプル数 [四半期]
(ビジネス) × (日帰り/宿泊) × (県内/県外)

観光地点パラメータ調査(四半期別)と補足調査(実施した場合のみ)のサンプル数を比較し、よりサンプル数が多い結果を用いることとします。

4. 統計量の推計方法と公表

4-1 統計量の推計方法

観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額の推計は次のとおり行います。

(1) 観光入込客数の推計

日帰りの観光入込客数は次のとおり推計します。

(観光入込客数：属性別)

$$= (\text{観光地点入込客数：属性別}) \div (\text{平均訪問地点数：属性別})^{※1}$$

ただし、(観光地点入込客数：属性別)

$$= (\text{観光地点入込客数合計}) \times (\text{構成比：属性別})^{※2}$$

ただし、ビジネス目的入込客数・県外・日帰りの入込客数については、観光庁が提供します。

宿泊の観光入込客数は次のとおり推計します。

(観光入込客数：属性別)

$$= (\text{宿泊観光入込客数 (補正前)：属性別}) \div (\text{平均利用宿泊施設数：属性別})^{※3} \\ \times (\text{実家、キャンプ場等利用補正係数})^{※4}$$

ただし、宿泊観光入込客数 (補正前)、実家・キャンプ場等利用補正係数については、観光庁が提供します。

なお、ここで推計する宿泊観光入込客数は従業員 10 人以上の施設を対象とした調査結果を用いています。

(2) 観光消費額単価の推計

観光消費額単価は次のとおり推計します。

(観光消費額単価：属性別)

$$= \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \sum_{j=1}^{n_k} \text{サンプル}j \text{の属性別観光消費額単価}$$

ただし、訪日外国人観光消費額単価、ビジネス目的観光消費額単価については、観光庁が提供します。

(3) 観光消費額の推計

観光消費額は次のとおり推計します。

(観光消費額：属性別)

$$= (\text{観光入込客数：属性別}) \times (\text{観光消費額単価：属性別})$$

< 推計に用いる係数の算出式 >

$$\text{※1: (平均訪問地点数 : 属性別)} = \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \sum_{j=1}^{n_k} \text{サンプル}j \text{の属性別訪問地点数}$$

$$\text{※2: (構成比 : 属性別)} = \frac{\sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の属性別のサンプル数}}{\sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の全属性のサンプル数}}$$

$$\text{※3: (平均利用宿泊施設数 : 属性別)} = \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の属性別の平均利用宿泊施設数}$$

$$\text{※4: (実家・キャンプ場等利用補正係数)} = \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \frac{\text{第}i\text{調査地点の属性別の宿泊者数}}{\text{第}i\text{調査地点の属性別の旅館・ホテル等利用者数}}$$

N	: 調査対象地点の観光入込客数の合計
N_k	: 属性 k の調査対象地点の観光入込客数の合計
m	: 調査対象地点数
N_i	: 第 i 調査地点の観光入込客数
n_i	: 第 i 調査地点のサンプル数
n_{ik}	: 第 i 調査地点の属性 k のサンプル数

4-2 統計量の共有と公表について

(1) 統計量の共有

都道府県は、調査の結果得られるデータについては、推計対象期間終了後5箇月以内を目処に「観光入込客統計調査データ共有様式」（資料2参照）に整理します。

なお、「観光入込客統計調査データ共有様式」については、その公表の有無にかかわらず、市区町村との共有を図ることとします。

(2) 統計量の公表

四半期周期で統計量を公表します。

統計量の推計に用いた観光地点等入込客数調査の結果が暫定値である場合は、その旨を明記した上で速報値として公表し、年間値の公表時に四半期の確定値も併せて公表します。

観光庁は、各都道府県に「観光入込客統計調査データ共有様式」の提供について協力をお願いし、「全国観光入込客統計」として、公表します（資料3参照）。

資料編

資料 1 観光地点パラメータ調査票（標準様式）

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____) 海外の場合(国名: _____)

↓
地元県の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性

年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

↓
→ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 → 県内宿泊施設数 _____ 施設

↑
宿泊した施設の数

<県内宿泊施設>

1. 実家や知人・親戚宅	2. 旅館	3. ホテル
4. ペンション・民宿	5. 保養所・研修所	6. キャンプ場
7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊	8. 別荘・リゾートマンション	
9. 会員制の宿泊施設	10. その他	

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス 2. 観光

3. 帰省・知人訪問 4. (1～3のどれでもない) その他

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

(_____)人

↓
2人以上の場合
→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____)人、2回目の人数 (_____)人
3回目の人数 (_____)人、4回目以上の人数 (_____)人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、この県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____)人、2回目の人数 (_____)人
3回目の人数 (_____)人、4回目以上の人数 (_____)人

Q8. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
また、この県に訪れる前・後に立ち寄った（立ち寄る予定の）都道府県があれば記入下さい。

		ここに来る前にいた場所		現在地		これから行く予定の場所														
居住地	→		→		→	調査地点	→		→		→	居住地								
		交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕

【表】交通機関

① J R 新幹線	② J R 在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

		ここに来る前にいた県		現在地		これから行く予定の県							
居住地	→	県	→	県	→	当 県	→	県	→	県	→	居住地	
		交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕			交通機関 〔 〕		

※交通機関は上表から選択

Q9. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ← 表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円		(県外分) 円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦バック料金			円
		↑ <input type="checkbox"/> 県内分のみ もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む	

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
				:	

資料2 観光入込客統計調査データ共有様式

○基本情報

※テキスト入力

データ対象期間

年	
四半期	

データ作成

作成者	都道府県
	部署
作成時点	
暫定値/確定値	

○共有データ

※観光地点等パラメータ調査の実施年月日・天候・特記事項はテキスト入力、それ以外は数値入力

都道府県別観光地点数、行祭事・イベント数

単位	範囲	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
地点	-								

都道府県別観光地点、行祭事・イベント観光入込客数(合計)

単位	範囲	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
千人地点	四半期								
千人地点	月別								
千人地点	月別								
千人地点	月別								

都道府県別観光目的の入込客数(訪日外国人除く。)

千人回	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別訪日外国人入込客数

千人回	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数

都道府県別ビジネス目的の入込客数

千人回	四半期	総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別観光目的観光消費額単価(訪日外国人除く。)

円/人回	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別訪日外国人観光消費額単価

円/人回	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数

都道府県別ビジネス目的観光消費額単価

円/人回	四半期	総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別観光目的観光消費額(訪日外国人除く。)

百万円	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別訪日外国人観光消費額

百万円	四半期	総数	宿泊		日帰り	
			宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数

都道府県別ビジネス目的観光消費額

百万円	四半期	総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
			宿泊総数	県外	県内	日帰り総数

都道府県別観光地点類型中分類別観光地点パラメータ調査地点数

地点	四半期	観光地点						
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他

観光地点パラメータ調査結果

四半期	実施年月日	天候	特記事項	サンプル数(人)	平均同行者数(人)	1人当たり平均訪問地点数(地点)	1人当たり平均消費額(円)	1人当たり平均訪問都道府県数(箇)

人	四半期	性別回答者数		年代別回答者数									
		男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	

人	四半期	目的別サンプル数				居住地別サンプル数		
		観光	ビジネス兼観光	帰省兼観光	その他兼観光	県内	県外	訪日外国人

資料3 全国取りまとめ・公表のイメージ

【四半期公表】

(1) 平成〇〇年第〇四半期 都道府県別観光地点数、行祭事・イベント数

	都道府県	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
01	北海道								
02	青森県								
..	..								
47	沖縄県								

※ 〇〇県の〇〇市、△△市及び□□県の〇〇市については、市を1つの観光地点として、その他に計上。

(2) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、観光地点、行祭事・イベント別観光入込客数

	都道府県	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
01	北海道								
02	青森県								
..	..								
47	沖縄県								

※ 〇〇県の〇〇市、△△市及び□□県の〇〇市については、市を1つの観光地点として、その他に計上。

(3) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(観光目的)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

(4) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(訪日外国人)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

(5) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(ビジネス目的)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

(6) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、中分類別観光地点パラメータ調査地点

	都道府県	実施年月日	観光地点						
			総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レク	都市型観光	
01	北海道								
02	青森県								
..	..								
47	沖縄県								

(7) 平成〇〇年第〇四半期都道府県別、観光地点パラメータ調査結果

都道府県	サンプル数	平均同行者数	1人当たり平均訪問地点数	1人当たり平均消費額	1人当たり平均訪問都道府県
01 北海道					
02 青森県					
.. ..					
47 沖縄県					

【年公表】

(8) 平成〇〇年都道府県別観光地点数、行祭事・イベント数

	都道府県	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
01	北海道								
02	青森県								
..	..								
47	沖縄県								

※ 〇〇県の〇〇市、△△市及び□□県の〇〇市については、市を1つの観光地点として、その他に計上。

(9) 平成〇〇年都道府県別、観光地点、行祭事・イベント別観光入込客数

	都道府県	観光地点							行祭事・イベント
		総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
01	北海道								
02	青森県								
..	..								
47	沖縄県								

※ 〇〇県の〇〇市、△△市及び□□県の〇〇市については、市を1つの観光地点として、その他に計上。

(10) 平成〇〇年都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(観光目的)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

(11) 平成〇〇年都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(訪日外国人)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

(12) 平成〇〇年都道府県別、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額(ビジネス目的)

	都道府県	観光入込客数				観光消費額単価				観光消費額			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
01	北海道												
02	青森県												
..	..												
47	沖縄県												

観光入込客統計に関する共通基準

発行 平成 25 年 3 月

編集 国土交通省観光庁参事官（観光経済担当）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 3 号

電話 直通 03（5253）8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

観光入込客統計に関する共通基準

調査要領

平成25年3月改定

国土交通省観光庁



観光入込客統計に関する共通基準 調査要領

目次

はじめに.....	1
I部 担当者の作業.....	2
I部 担当者の作業.....	3
I-1 作業フローと作業周期.....	3
I-2 作業の具体的な内容.....	4
0 既存の観光統計調査の確認.....	4
1 観光地点等名簿の作成.....	5
2 観光地点等入込客数調査の実施.....	11
3 観光地点パラメータ調査の実施.....	14
4 統計量の推計.....	18
5 結果の整理.....	21
II部 例外的な対応について.....	22
II-1 観光地点等入込客数調査において流入地点調査を実施する場合.....	22
II-2 観光地点パラメータ調査において補足調査を実施する場合.....	23
II-3 北海道及び沖縄県の特例.....	24
資料.....	26
資料1 観光地点等名簿 整理項目.....	26
1-1 都道府県及び市区町村が観光地点等名簿で整理する項目.....	26
1-2 観光地点等名簿の作成にあたり管理者等に報告を求める項目.....	27
資料2 観光地点パラメータ調査の調査員マニュアル例.....	29
資料3 データのクリーニング事項.....	39
資料4 観光地点パラメータ調査結果 入力項目.....	40
資料5 調査票関連一式.....	41
5-1 観光地点パラメータ調査票 標準様式.....	41
5-2 観光地点パラメータ調査票の解説.....	51
5-3 観光地点リスト.....	55
資料6 観光入込客統計調査データ共有様式.....	56

はじめに

本調査要領では、「観光入込客統計に関する共通基準（平成21年12月策定、平成25年3月改定）」（以下「共通基準」という。）に基づき、都道府県及び市区町村担当者が調査を実施する際の具体的な作業内容を示したものです。

関係者の役割分担としては、都道府県と市区町村の担当者が連携して観光地点等名簿を作成し、観光地点パラメータ調査の実施、統計量の推計、結果の整理を都道府県の担当者が担当し、観光地点等入込客調査の実施を市区町村の担当者が担当するものと想定して整理しています。観光入込客統計は調査内容が多岐に渡ることから、都道府県及び市区町村で相互に連携・協力して実施してください。

I部では、担当者の標準的な作業内容を以下の6つに分けて整理しています。

- 既存の観光統計調査の確認
- 1 観光地点等名簿の作成
- 2 観光地点等入込客数調査の実施
- 3 観光地点パラメータ調査の実施
- 4 統計量の推計
- 5 結果の整理

II部では、地域の実状に応じた例外的な取扱いについて整理しています。

本調査要領は、都道府県別の統計量を推計するために作成していますが、政令市等において都道府県と同様に本調査要領に沿って調査を実施した場合でも、その単位で公表可能なものとなります。共通基準によって作成される観光入込客統計によって、次のような比較分析等が可能となり、観光施策の策定、実施、評価に資するものとなります。

- 観光行政運営の基盤である観光地点等名簿が整備される
観光地点等名簿が全国統一的に整備され、観光資源、観光地の類型ごとの比較が可能となります。
- 観光客数及び観光消費額について比較可能となる
統一的な手法による観光入込客数と観光消費額単価を把握することで、都道府県間で比較可能な観光消費額を推計することが可能となります。
- 地域における旅行・観光産業の役割がわかる
県民経済計算等の他統計と比較分析を行うことで、他産業と観光産業との比較、観光産業の雇用への貢献度等を把握することができます。
- 観光動向を四半期ごとに詳細分析することができる
観光地点パラメータ調査の結果を分析することにより、観光客の周遊状況等の観光行動を詳細に把握することができます。また、観光消費額単価やその構成から、観光の特徴や動向を時系列で比較することができます。

I 部 担当者の作業

I-1 作業フローと作業周期

都道府県及び市区町村担当者の作業内容の全体像と作業周期を示したものです。

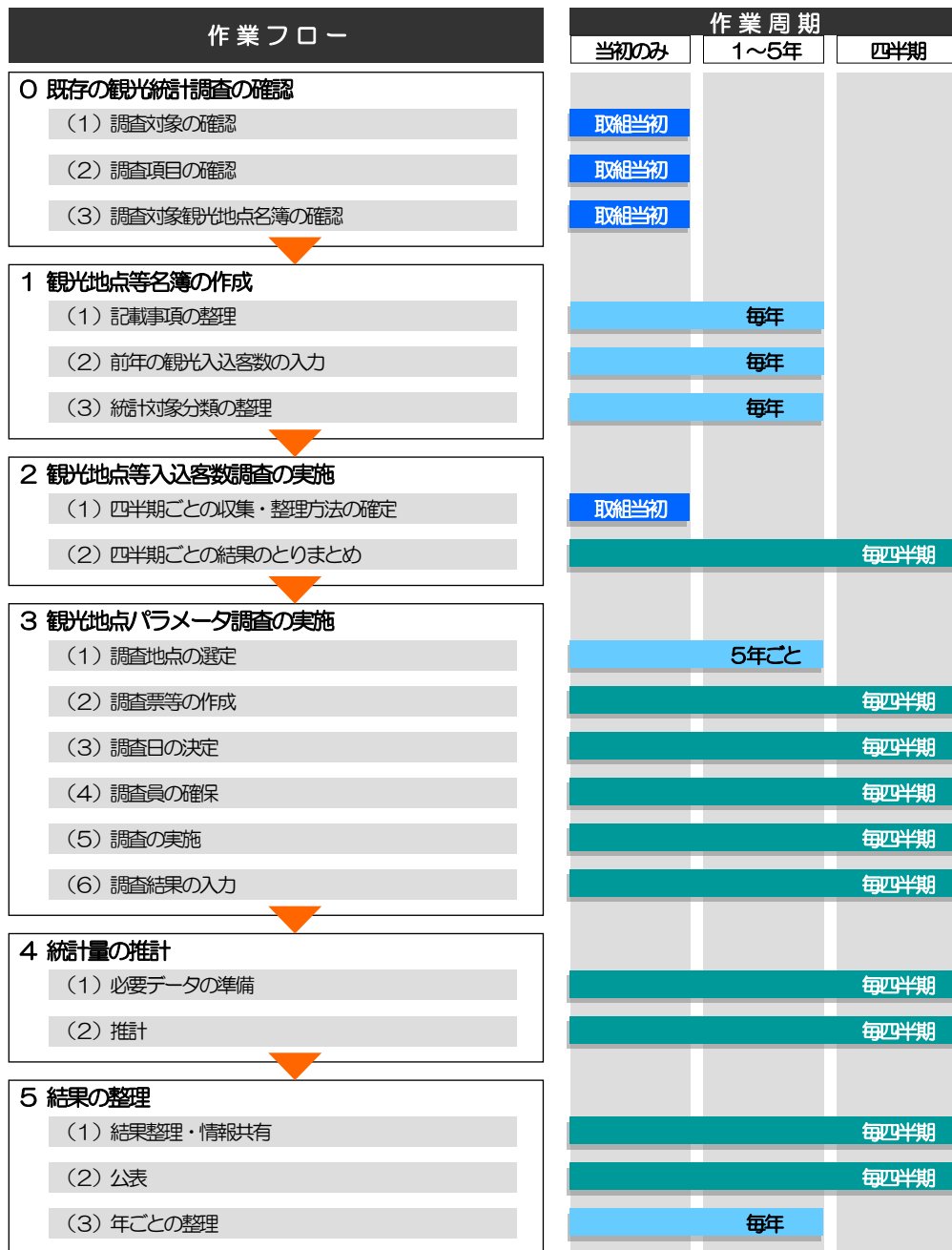


図 1 観光入込客統計に係る作業フローと作業周期

I-2 作業の具体的な内容

0 既存の観光統計調査の確認

共通基準による調査を開始するにあたり、既に類似の観光統計を実施している場合は、共通基準との違いについて確認し、必要な修正を行う必要があります。なお、この確認は共通基準による調査を開始する当初限りの作業です。

作業フロー	作業周期		
	当初のみ	1～5年	四半期
0 既存の観光統計調査の確認			
(1) 調査対象の確認	取組当初		
(2) 調査項目の確認	取組当初		
(3) 調査対象観光地点名簿の確認	取組当初		

図 2 既存の観光統計調査の確認に係る作業フローと作業周期

(1) 調査対象の確認 取組当初

既存の調査対象が共通基準の調査対象と整合しているか確認。特に、以下の3つを満たしているか確認します。

- ・観光入込客数 : 都道府県の観光入込客数が、観光地点ごとの単純な合計であるか、平均訪問地点数で除した値か。
- ・対象期間 : 観光地点ごとの月別入込客数を四半期ごとに把握しているか。
- ・訪問の目的 : ビジネス目的の入込客を含めた対象としているか。

(2) 調査項目の確認 取組当初

既存の調査項目が共通基準の定義と整合しているか確認。特に、以下の2つを満たしているか確認します。

- ・訪問地点数 : 入込客数を把握していない観光地点を訪問地点調査の対象に含めていないか。また、入込客数を把握している観光地点全てを訪問地点数の対象としているか。
- ・観光消費額単価 : 県内消費額と県外消費額を区別しているか。

(3) 調査対象観光地点名簿の確認 取組当初

既存の調査対象観光地点名簿が共通基準と整合しているか確認。特に、以下の2つを満たしているか確認します。

- ・観光地点 : 複数の観光施設を集合して一つの観光地点としている場合、観光入込客の把握に重複はないか。
- ・観光地点等分類 : 観光地点と行祭事・イベントを区分しているか。

1 観光地点等名簿の作成

本統計の基本となる観光地点等の名簿を作成します。なお、この作成は共通基準による調査を開始する当初に新規作成又は既存の名簿を整理するもので、以後、その名簿をもとに毎年1月1日現在で見直しを行います。

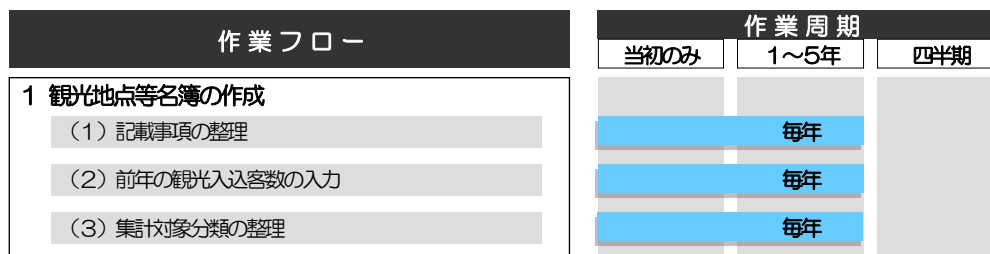


図 3 観光地点等名簿の作成に係る作業フロー

(1) 記載事項の整理..... 毎年

① 観光地点等名簿に記載すべき事項

観光地点等名簿では、以下の項目について整理・記載します。

なお、標準的な様式は別途配布する支援ツールに同梱されています。(資料1参照)

表 1 観光地点等名簿の把握事項

項目	記入方法	備考	
観光地点等	文字入力	観光地点等名を記載 地点名のみで具体的な箇所を特定できるようにする。 (例：〇〇海岸海水浴場・〇〇市博物館) 空間的に連担しており、範囲を明確とする。基本は個々の地点(施設)を観光地点とするが、点在する複数の地点(施設)の集合体で一つの観光エリアを構成するような場合(〇〇温泉、〇〇街等)は、その集合体を観光地点としてもよい。なお、この場合、個々の観光施設の訪問者の重複分を除いた値とする必要がある。	
	コード入力	都道府県コード(2桁)+ユニークな番号(7桁) 毎年同じコードとし、廃止したコードは再付与しない。	
所在地	文字入力	—	
	コード入力	全国地方公共団体コード	
緯度経度	文字入力	60進法で度・分・秒を入力：任意で入力 ※緯度経度はフリーの地図ソフトで場所から簡単に読み取れます	
観光地点等分類	コード入力	表2、表3参照	
観光入込客数の把握手法	コード入力	表4、表5参照	
	文字入力	具体の把握手法を記載	
前年の観光入込客数	(月別) 数値入力	前年の観光入込客数を記載	
行祭事・イベント開催期間	数値入力	観光地点大分類：行祭事・イベントの場合に記載	
地域区分	文字入力	地域名を記載	
	コード入力	毎年同じコードとする。	
集計対象分類	日常利用・非日常利用別	コード入力	月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満と判断される地点
	年間入込客数別	コード入力	前年の入込客数が、年間1万人以上若しくは前年の特定月の入込客数が5千人以上の地点
	集計対象	コード入力	非日常利用・一定の入込規模 共に要件を満たす地点
活動情報	コード入力	廃業：0、活動中：1、休業：2	
観光地点等公表の可否	名称	コード入力	名称を公表してよい：1
	観光入込客数	コード入力	観光入込客数を公表してよい：1
連絡先	部署名等	文字入力	—
	担当者名	文字入力	特定できる場合に記載
	電話/FAX/e-mail	文字入力	—

② 観光地点等名簿の記載内容

i) 観光地点等コード

各都道府県が観光地点ごとに付与するコードを使用します。

なお、観光地点等コードについては、1度付与したコードは同観光地点が廃止されない限り、同じコードを使用することとし、廃止したコードについては再使用しないこととします。

ii) 所在地コード

全国地方公共団体コードを使用します。

iii) 観光地点等分類コード

表2に記載する観光地点等分類コードを使用します。なお、観光地点等中分類の内容・留意事項は、表3のとおりです。

表2 観光地点等分類コード

大分類	中分類	小分類	備考
1 観光地点	01 自然	01 山岳	広大な地域を対象とする場合は入込客数のダブルカウントに留意する。
		02 高原	湿原、原野等も含み、観光の対象となっているもの。
		03 湖沼	人造湖含む。
		04 河川	峡谷、滝等を含む。
		05 海岸	海岸、砂丘、岬等をいう。海水浴場は、スポーツ・レクリエーションに分類する。
		06 海中	自然公園法で海中公園に指定されている地区や海中景観の優れた地区等。
		07 島	離島。
		99 その他自然	エコツーリズム(自然環境を対象とし、それらを損なうことなく、それらを体験し学ぶ観光)、グリーンツーリズム(農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動)等は、ここに整理。
	02 歴史・文化	01 史跡	古墳、貝塚、城跡、古戦場等。
		02 城	天守あるいはやぐらを有する城。(復元されたものも含む。城跡は史跡で整理する。)
		03 神社・仏閣	観光利用の対象として扱っているもの。
		04 庭園	一般の方が入場可能な庭園。
		05 歴史的まち並み、旧街道	歴史的に魅力があり、観光利用の対象として扱っているもの。
		06 博物館	博物館等の定めのないものも含む。
		07 美術館	ギャラリー、絵画館を含む。
		08 記念・資料館	
		09 動・植物園	サファリパーク、鳥類園を含む。
		10 水族館	
		11 産業観光	産業観光(歴史的・文化的価値のある工場等やその遺構、機械器具、最先端の技術を備えた工場等を対象とした観光で、学びや体験を伴うもの。)例:ワイナリー、ビール園、酒造見学等。
	12 歴史的建造物	歴史的建造物、デザインの優れた建造物(橋や駅、ビル、タワー、ダム等)。歴史的文化的価値のある建造物そのものが観光利用の対象となっているもの。	
	99 その他歴史		
	03 温泉・健康	01 温泉地	温泉法に基づくもの。「〇〇温泉」と同じ名のつくエリアの宿泊及び日帰りの温泉施設全体を一つの地点として取り扱う。なお湯畑等の観光施設を別地点としても差し支えかまわれないが、重複して入込客数をカウントしないように留意する。
		99 その他温泉・健康	温泉法に基づかない温泉類似施設。スーパー銭湯等については日常利用の多寡に留意する。ヘルスツーリズム(自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態)。

2	04	スポーツ・レクリエーション	01	スポーツ・レクリエーション施設	ゴルフ場、テニスコート、スケート場、プール、サイクリングコース、ハイキングコース、複合的スポーツリゾート施設等。・自然歩道、自然研究路を含む。 日常利用の多寡に注意する。(例:・ゴルフ練習場は含まない。レジャー的要素がなく日常利用が大半を占める運動用プール等は含まない。河川敷のサイクリングコース等で日常利用者が大半を占めるものは含まない。 スポーツ観戦(野球、サッカー、メジャーゴルフトーナメント大会等)の入込は含まない。
			02	スキー場	
			03	キャンプ場	
			04	釣り場	具体的な箇所を特定できる「釣り場」を地点とする。「自然」の「湖沼」や「河川」と重複しないように留意する。
			05	海水浴場	
			06	マリーナ・ヨットハーバー	
			07	公園	イベントの開催やピクニック等の目的となる公園を対象とし、施設のない公園や総合運動公園で日常利用者が大半を占めるものは含まない。なお、公園等を会場とする行祭事・イベントへの参加に係る人数は行祭事・イベントに分類する。
			08	レジャーランド・遊園地	【日本標準産業分類における定義】 各種遊戯施設により娯楽を提供する事業所をいう。 【特定サービス産業実態調査(経済産業省)における定義】 樹木、池等自然の環境を有し、かつ、有料の各種遊戯施設を配置し、客に娯楽を提供する業務を営む事業所(客が直接に硬貨・メダル・カード等を投入するものを除き、3種類以上の遊戯施設を有するもの)をいう。
			09	テーマパーク	【日本標準産業分類における定義】 文化、歴史、科学等に関する特定のテーマに基づき施設全体の環境づくりを行い、各種遊戯施設により娯楽を提供する事業所をいう。 【特定サービス産業実態調査(経済産業省)における定義】 入場料をとり、特定のテーマのもとに施設全体の環境づくりを行い、テーマに関連するアトラクションを有し、パレードやイベント等のソフトを組み込んで、空間全体を演出して娯楽を提供する事業所をいう。
			99	その他スポーツ・レクリエーション	
	05	都市型観光 —買物・食等—	01	商業施設	郊外ショッピングセンター、駅前商店街等で日常利用が大半を占めるものは含まない。
			02	地区・商店街	朝市・市場等で日常利用が大半を占めるものは含まない。
			03	食・グルメ	食をテーマとした観光利用の拠点。日常利用の多寡に留意すること。
			99	その他都市型観光 —買物・食等—	農水産品等の直売所、物産館等はここに含める。
	06	その他	99	他に分類されない観光地点	道の駅、パーキングエリア等はここに含める。ただし単なる休憩機能のみの施設は除く。
	01	行祭事・イベント	01	行・祭事	見学者、参加者すべてを入込客数に含める。
			02	花見	観光地点としての入込客と、特定の時期に集中するイベントへの入込客は、区分することが望ましい。地点の入込客のうち花見分を区分し、観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
			03	初詣	地点の入込客のうち、初詣分を区分。観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
			04	花火大会	地点の入込客のうち、花火大会分を区分。観光地点の入込客数からはこの分を除くこと(日数や他月の平均値利用等の推計でも可)。
			05	郷土芸能	
06			地域風俗		
07			博覧会		
08			コンサート	野外コンサート含む。	
09			スポーツ観戦	参加者も含む。	
10			映画祭	施設としての映画館は含まない。	
11			コンベンション・国際会議		
99			他に分類されない行祭事・イベント	イベント会場でイベントごとの観光入込客数を集計しない場合は、ここでまとめて整理。	

表 3 観光地点等中分類の内容・留意事項

大分類	中分類	内容・留意事項
1 観光地点	01 自然	自然景観が観賞できる観光地点。
	02 歴史・文化	寺社・仏閣といった歴史的建造物及び博物館・美術館、水族館といった見学施設。
	03 温泉・健康	<p>小分類01 温泉地 について 「〇〇温泉」と同じ名のつくエリアの宿泊及び日帰りの温泉施設全体を一つの地点として取扱う。 観光入込客数は、原則として以下のいずれかの方法で把握する。</p> <p>Case1 入湯税によるカウント Case2 温泉施設及び周辺観光施設（間欠泉等）の入場者数の足し合わせ →これらのケースは湯巡り客等がダブルカウントされる恐れがあり、人数に大きな開きを生じる場合があるので、こうした手法の集計方法をとる場合に、ダブルカウントにならないようにする。または、温泉施設とそれ以外を別の観光地点として分ける。</p> <p>Case2' 山奥等の閉鎖的観光地域で、実質的に「温泉地＝宿泊施設利用客」となる場合 →宿泊施設の利用客の足し合わせを観光地点の観光入込客数としてもよい。</p> <p>なお、原則として「宿泊施設≠観光地点」であり、宿泊施設の宿泊者数を観光入込客数とするケースは限定的とする。（宿泊しかない場合のみ） また、外湯巡りによるダブルカウントに注意すること。</p>
	04 スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションを主目的に計画・整備された施設。 なお、例えばゴルフ場等を市区町村単位でまとめず、個別のゴルフ場を観光地点とする。
	05 都市型観光－買物・食等－	ショッピング、飲食等、都市・商業の様々な魅力を体験できる地点。
	06 その他	
2 行祭事・イベント	01 行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設若しくは特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等の集合を意味する。

iv) 観光入込客数の把握手法コード

表4に記載する観光入込客数の把握手法コードを使用します（施設種類、入込客数の実数・推計別、把握時間、把握方法のそれぞれのコードを記入します）。なお、コードを付与する際の内容・留意事項は、表5のとおりです。

表 4 観光入込客数の把握手法コード

施設種類		入込客数の 実数・推計別		把握期間		把握方法	
無料	0	推計	0	代表期間	0	主催者発表	0
有料	1	実数	1	全期間	1	上記以外	1
—	—	暫定値	2	—	—	—	—

表 5 観光入込客数把握手法の内容・留意事項

項目	内容・留意事項
施設種類	対象の観光地点等が有料施設か無料施設かを記載
入込客数の 実数・推計 別	観光入込客数を直接カウントしているのか、推計しているのかを判断して記載 ○推計の例 ・把握対象や時間が一部の場合 ・自動車台数の人数換算等をしている場合 ・レジ等で商品購入者のみをカウントしている場合 ・最寄駅の乗降者数等で一部の交通機関利用者のみをカウントしている場合 ・海水浴場等で一定範囲をカウントしている場合
把握期間	全ての期間をカウントしているのか、代表期間のカウントから推計しているのかを判断して記載 ○代表期間の例 ・一日のうち代表時間をカウントしている場合 ・四半期のうち代表日をカウントしている場合
把握方法	観光地点大分類が「行祭事・イベント」の場合に記載

(2) 前年の観光入込客数の記載 毎年

観光地点等観光入込客調査により、前年の観光入込客数を記載します。

(3) 集計対象分類の整理 毎年

観光地点等名簿には都道府県の全ての観光地点等を記載しますが、本統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点です。

ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとします。

この条件を満たすか確認を行い、コード入力してください。

以降の作業である観光地点等入込客数調査の実施、観光地点パラメータ調査の実施、統計量の推計は、下記要件を満たす観光地点等を対象に行います。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えありません。また、観光政策上、特に重要である地点については、非日常利用割合が低くても、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えありませんが、この場合は観光地点入込客数調査における観光入込客数は非日常利用者の分に限りません。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととします。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとします。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することとします。

参考

非日常利用について

非日常利用の評価は、利用実態を把握している管理者等の判断により行ってください。管理者の判断方法については、平均的な一日の訪問者の聞き取り調査等で判断することが理想的ですが、実務的には、服装、履物、駐車場の車のナンバー等から総合的に判断してください。

2 観光地点等入込客数調査の実施

観光地点等別に観光入込客数を把握します。具体的調査は、市区町村担当者が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に確認することにより行い、都道府県担当者は都道府県内の各市区町村から報告された結果を取りまとめます。

なお、四半期ごとに月別の調査を行ってください。



図 4 観光地点等観光入込客数調査の実施に係る作業フローと作業周期

(1) 四半期ごとの収集・整理方法の確定 取組当初

共通基準による調査を開始するにあたり、都道府県は観光地点等別の観光入込客数の把握方法を整理する必要があります。なお、本調査要領においては、観光地点等入込客数調査は市区町村を通じて、当該観光地点等の管理者等からの報告又は公的機関の発表等による数値を用いることとしています。

参考

観光地点等ごとの観光入込客数の把握方法例

観光地点等ごとの観光入込客数を把握するにあたっては、推計によらず実数を把握する方法が理想的ですが、様々な理由により実数を把握することが困難な場合、以下のような簡便な推計方法が考えられます。

ただし、簡便な推計方法を採用する場合は、精度の観点から可能な限り実数との乖離を定期的にチェックすることが望ましいです。

○管理者等以外の第三者からの報告を活用する場合

- ・ 当該地点を訪れる方が必ず立ち寄りそうな売店等の施設がある場合には、当該施設の利用者数から推計
- ・ 単一の交通機関による利用が大半を占める観光地点の場合には、駅、駐車場等の交通施設の利用者数から推計

<車による場合>

- ・ 駐車場を利用した車両台数を調査し、車種ごとの平均乗車人数を乗じて観光地点に車で訪れた入込客数を推計

$$(\text{車で訪れた入り込み客数}) = \sum_{i=1} X_i \times a_i = X_1 \times a_1 + X_2 \times a_2 + \dots$$

i : 車種、 X_i : 車種ごとの車両台数、 a_i : 車種ごとの平均乗車人数

観光地点等ごとの観光入込客数の把握方法例（続き）

○都道府県・市区町村等が直接調査を実施する場合

- ・ 入り口が限定できる観光地点の場合には、入り口で入場者数を人又はセンサーにより、カウントして推計（ビデオ等のデジタル画像を用いた処理による方法を含む）

○都道府県・市区町村等が直接調査を実施する場合—海水浴場や公園など—

- ・ 観光客の出入りが激しい観光地点では、敷地内を最盛時間に端から端へ移動しながら数えた利用者数に回転数をかけて調査日の入込客数を推計する方法が考えられる。調査日の入込客数をもとに、必要な期間の観光入込客数を推計する。行祭事・イベントなどにも適用が可能。

$$\text{調査日の入込客数} = \text{最盛時の利用者数} \times \text{回転数}$$

<大型海水浴場など>

- ・ 一定範囲を定めてその範囲内を最盛時間に移動しながら利用者を数え、これに回転数と全面積をかけ、さらに一定範囲の面積で割って調査日の入込客数を推計する方法。調査日の入込客数をもとに、必要な期間の観光入込客数を推計する。

$$\text{調査日の入込客数} = \frac{\text{一定範囲内の最盛時の利用者数} \times \text{回転数} \times \text{観光地点面積}}{\text{一定範囲の面積}}$$

※回転数等のパラメータについては、市区町村の観光特性に応じて個別に設定。

○都道府県・市区町村等が直接調査を実施する場合—街並みなど—

- ・ 街並みの周遊状況をアンケート調査で把握し、最も立ち寄りの多い箇所を特定し、特定した箇所で見込客数を数えて街並み全体の観光入込客数とする方法。特定箇所では、人又はセンサーにより、カウントして推計する方法が考えられる（ビデオ等のデジタル画像を用いた処理による方法を含む）。

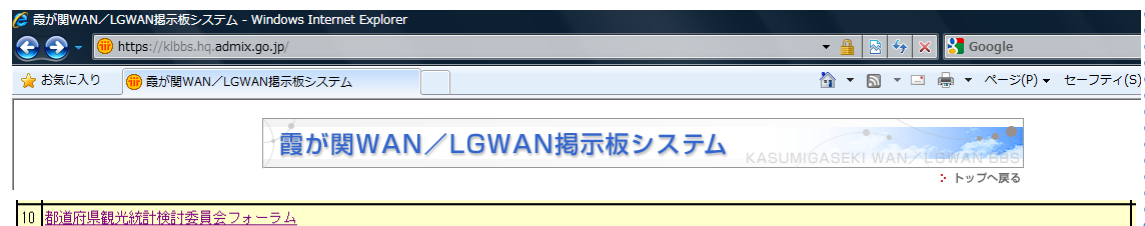
○離島において観光入込客数を把握する場合

- ・ 離島においては、流入地点（空港、海港等）で見込客数とその内訳（日常利用かどうか）を把握する方法で観光入込客数を推計してもよい。

○自然系の一定のエリアの入込客数を把握する場合—山岳や河川など—

- ・ 当該エリアへのアクセス経路が限定される場合には、通過交通量とその内訳（日常/非日常等）を把握し、推計する方法が考えられる。

上記の他、観光入込客数の把握方法は地域の実状によってさまざまであり、より精度の高い統計とするため、都道府県観光統計検討委員会フォーラム等により関係者間による情報共有を行います。



観光地点等ごとの観光入込客数の把握方法例（続き）

（２）四半期ごとの結果の取りまとめ 毎四半期

観光地点等ごとの月別入込客数を四半期ごとに取りまとめます。具体の取りまとめ・整理は、市区町村担当者が行い、都道府県担当者は都道府県内の各市区町村から報告された結果を、観光地点等名簿の様式に取りまとめます。

なお、都道府県担当者が取りまとめる際に月別入込客数の報告がない観光地点等の入込客数については、以下に示す２つの暫定値のいずれかを用いて取りまとめることとします。暫定値１を用いることを推奨します。

暫定値１：報告がなされている観光地点等全体の入込客数の対前年同月比を、未報告の観光地点等の前年同月の値に乗じた値とする。

暫定値２：同地点の前年同月の入込客数とする。

3 観光地点パラメータ調査の実施

都道府県内の観光地点から10地点以上の観光地点を選定し、観光地点パラメータ調査を実施します。なお、この調査は四半期ごとに行います。

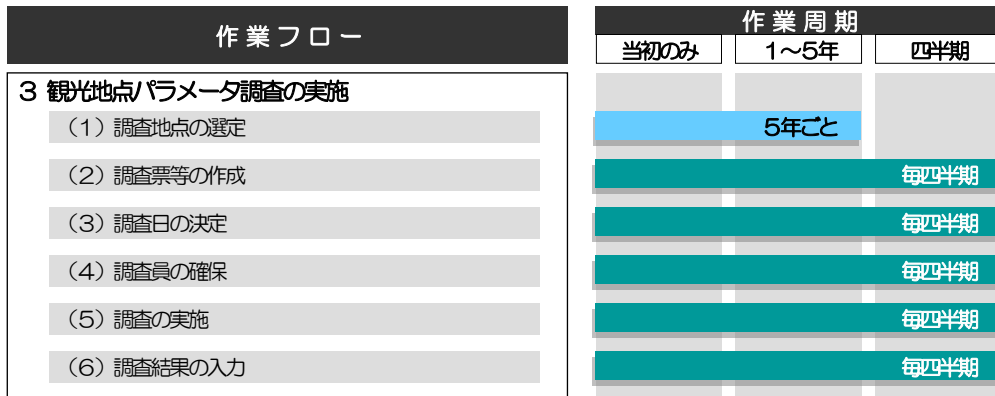


図 5 観光地点パラメータ調査の実施に係る作業フローと作業周期

(1) 調査地点の選定 5年ごと

- ① 観光地点パラメータ調査の調査地点の選定は、観光地点の入込客数規模を考慮して10地点以上選定し、5年間固定します。なお、都道府県内をいくつかの地域に分割して選定する方法と地域に分割しないで行う方法のどちらを採用しても構いません。
- ② 地域別の調査地点の配分は、地域ごとに平均的に配分する方法と、地域別観光入込客数に比例して配分する方法が考えられますが、地域ごとに最低1地点選定いただければどちらを採用いただいても構いません。なお、地域ごとに平均的に配分する場合に、同数を配分できない場合は、観光入込客数が多いと考えられる地域から順に配分してください。調査地点を選定した後、該当観光地点の管理者等に調査協力の要請を行い協力を得られない場合や、調査日の観光入込客数がない（営業をしていないなど）場合、又は極端に少ない場合は、再度選定し、調査協力を要請し、10地点以上になるまで繰り返してください。
- ③ 実際の選定作業は支援ツールを活用いただくと便利です。支援ツールでは、予備地点も抽出されますので、地域ごとに十分な数の調査地点候補を抽出することができます。

参考

調査地点の選定方法

支援ツールを使用した観光地点パラメータ調査地点の選定方法は、次のとおりです。

<ステップ1> 観光地点ごとの前年の月別観光入込客数を整理する。

<ステップ2> 観光入込客数の数だけ選択肢としての地点をセットする。

(A 地点の入込客数1万人の場合は、選択肢として、A 地点を1万地点分セットする)

<ステップ3> 単純無作為抽出により10地点選定する。

<ステップ4> 選定地点の前年同月の観光入込客数を確認する。

(観光入込客数が著しく少ない場合は予備に入れ換える。)

(2) 調査票等の作成 毎四半期

調査票、観光地点リストを作成します。必要に応じて外国語版を作成してください（資料5参照）。

調査票は、共通基準で示された標準様式の調査票に、都道府県の必要に応じた設問を追加したものでありませんが、回答者負担の増加を考慮する必要があります。

観光地点リストは、共通基準で示された集計の対象となる都道府県の観光地点全てを記載する必要があります（観光地点リストにない観光地点は、平均訪問地点数算出の対象となりません）。

観光地点数が多い場合には、訪問地点の選択肢が増えて回答者負担が大きくなるので、前年調査実施月に入込実績が0人であった地点を削除したり、レイアウトを見やすくしたりするなどの工夫をしてください。

また、行祭事・イベントは同リストに記載しません。

参考

調査票の設問項目について

資料5-1に示している観光地点パラメータ調査票（標準様式）には、回答の正確性を期するために、本調査で直接集計の対象として取り扱わない項目が含まれています（交通費（県外分）や利用交通機関、同行者の種類、訪問回数）。これらの調査結果を独自に入力・集計・分析し、活用していただくことができます。

なお、統計量の推計に活用する設問及びその他の設問についての解説は、資料5-2を参照してください。

(3) 調査日の決定 毎四半期

対象とする四半期に含まれる休日から調査日を1日決定してください。当該四半期に含まれる休日1日で、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日とし、都道府県ごとに全ての調査地点で同日に実施することが理想的ですが都道府県の実状に応じて柔軟に実施してください。

お正月、GW、お盆などの観光入込客数が他の休日と平日の観光入込客数の合計よりも大きいと考えられる場合を除き、これらの時期に観光地点パラメータ調査を行うことは望ましくありません。

調査日は、観光地点の選定や調査員の確保に要する期間を考慮し、調査実施の2ヶ月前には決定していることが理想です。

(4) 調査員の確保 毎四半期

調査員は、調査地点ごとに3名程度を確保する必要があります。

- ・ 各地点の目標サンプル数：300 サンプル
- ・ 本人を含む同行者数を平均4人と想定し目標回収票数：75 票
- ・ 1票あたり調査時間 15分（調査後の確認・整理作業を含めた時間）と想定して、10時～17時の回収可能票数（1時間の休憩を想定）：24票/人
- ・ 目標回収票数÷一人あたり回収可能票数より、調査員数の目安：3人

調査員に対しては、調査員マニュアル例（資料2）を参考にマニュアルを作成し、事前に説明会を実施するなどして、調査手順等を徹底してください。

(5) 調査の実施

毎四半期

(1)～(4)の準備を踏まえて、観光地点パラメータ調査を実施します。なお、施設等の営業時間帯を考慮して調査時間を決定することとしますが、調査時間は十分に確保してください。

調査員一人当たりの目標調査票数は25票ですが、調査時刻による偏りを排除し、他の調査地点の調査票が目標に達しない場合に備えて、調査時間内は目標調査票数に達しても調査を継続してください。

調査当日は不測の事態に備えて、各調査員、パラメータ調査委託会社、管理者、市区町村担当者、都道府県担当者等関係者が遅滞なく連絡がとれるようにしておく必要があります。

また、調査実施について事前にプレスリリースをしておき、その報道資料を調査員に配布して、調査実施時の説明に用いると協力が得られやすくなります。

(6) 調査結果の入力

毎四半期

全調査地点の調査票を回収した上で、調査票コードに、都道府県名・調査地点ID・調査年月日・IDを記入してください。なお、IDは整理用のため任意で設定してください。

観光地点パラメータ調査のデータをクリーニングし、無効票を排除してください。クリーニング事項については資料3に整理しています。クリーニング時に補完できるデータは補完した上で、一問でも記入漏れがあった場合には、当該票全体を無効票として扱ってください。

支援ツールを活用する場合は、クリーニング後、資料4の項目内容で電子化してください。

観光地点パラメータ調査の仕様例

観光地点パラメータ調査は専門の調査会社に委託することも考えられます。その場合に想定される見積もり例（1 四半期分）を以下に示します。

● 実査仕様例

費用項目	数量		単価		備考
調査票及び訪問地点 地点リスト作成		人日		円/人日	
印刷	1,500	票/回		円	
翻訳	1	式		円	※都道府県、調査地点によって用意すべき言語（言語数）を選定する必要
調査員の確保（募集費用）	1	式		円/式	※統計協会等の既存組織を活用する場合は不要
説明会資料の作成	2	人日		円/人日	
説明会の開催	2	回/回		円/回	※会場費等、開催は必須と想定される
調査の実施	30	人日/回		円/人日	※地点当たり3名想定、※外国人が多い調査地点では対応可能な調査員が必要
調査員雇用費用（調査日、 説明会出席）		円/人	60	人	※他言語対応可能者は単価が異なる
調査員交通費		円/人	60	人	※都道府県の交通事情、地点の選定状況によって大きく異なる
データ入力		人日		円/人日	
データクリーニング		人日		円/人日	※調査票の記入精度が低ければ増加

図 6 実査仕様例

● 実査使用例に対する見積もり例

費用項目	数量		単価		備考	計
調査票及び訪問地点 地点リスト作成	2	人日	10,000	円/人日	※観光地点リストが整備されていることが前提	20,000
印刷	1,500	票/回	10	円/票		15,000
翻訳	1	式	80,000	円	※英語のみ対応	80,000
						115,000
調査員の確保（募集費用）	1	式	100,000	円/式	※会員への案内費用	100,000
説明会資料の作成	2	人日	10,000	円/人日		20,000
説明会の開催	2	回/回	40,000	円/回	※会場費・講師料等	80,000
						200,000
調査の実施	30	人日/回	-	-	※地点当たり3名想定、 ※外国人（英語）には 問い合わせ窓口で対応	-
調査員雇用費用（調査日、 説明会出席）	60	人日/回	12,000	円/人日	※日本語対応者	720,000
調査員交通費	60	人日/回	3,000	円/人日	※自家用車利用前提、ガ ソリン代を目安に 100km 程度の移動を 想定、※山岳、島嶼部 等での調査なしと想定	180,000
						900,000
データ入力	4	人日	10,000	円/人日		40,000
データクリーニング	4	人日	10,000	円/人日		40,000
						80,000
経費計						1,295,000
一般管理費	1295000	円/経費計	10	%/経費計		129,500
計						1,424,500
諸費税						71,225
合計						1,495,725

図 6 見積り例

4 統計量の推計

観光地点等入込客数調査と観光地点パラメータ調査、観光庁が提供するデータを基に、統計量（観光入込客数・観光消費額単価・観光消費額）を推計します。なお、この推計は四半期ごとに行います。

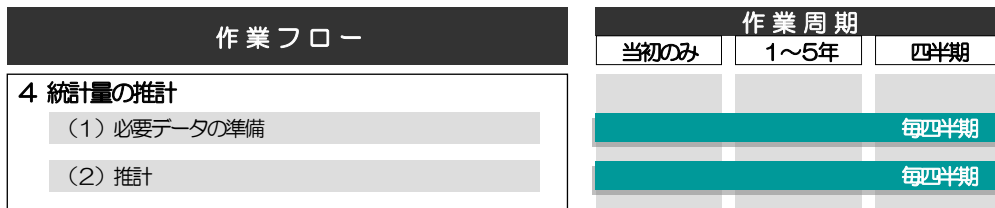


図 7 統計量の推計に係る作業フローと作業周期

(1) 必要データの準備 毎四半期

統計量の推計に活用する調査及びデータとしては、都道府県及び市区町村で実施する調査、観光庁より提供されるデータがあります。

都道府県及び市区町村では、以下の①及び②の調査を実施します。③～⑦については観光庁より提供されます。

- ① 観光地点等入込客数調査
- ② 観光地点パラメータ調査
- ③ 観光目的別・居住地別の宿泊観光入込客数 [四半期・年間]
- ④ ビジネス目的・県外の日帰り観光入込客数 [四半期・年間]
- ⑤ 観光目的別・宿泊/日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価 [四半期・年間]
- ⑥ ビジネス目的、宿泊/日帰り別、県内/県外別の観光消費額単価 [四半期・年間]
- ⑦ 実家・キャンプ場等利用補正係数 [四半期・年間]

※上記①～⑦の数字は次頁図8中の数字と対応しています。

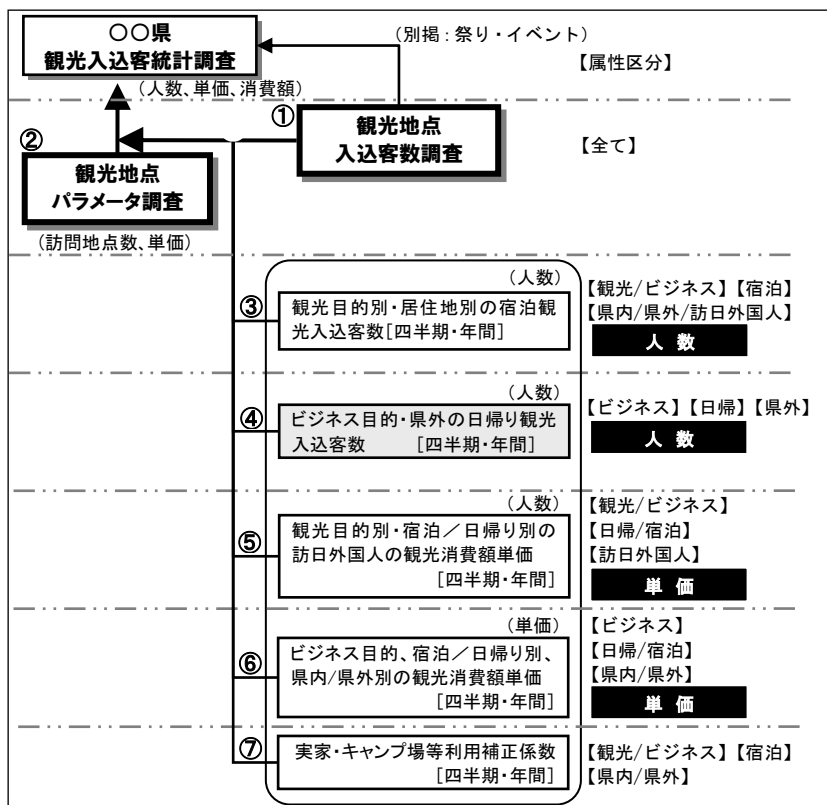


図 8 統計量の推計に用いる調査とデータ

(2) 推計

統計量（観光入込客数・観光消費額単価・観光消費額）を推計します。

観光入込客数（都道府県合計）を属性別構成比で按分し、平均訪問地点数で除して、観光入込客数を推計します。さらに別途、観光消費額単価を推計し、この2つを乗じることによって観光消費額を推計します。

なお、実際に集計する際は支援ツールを用いると便利です。以下の推計フローに沿った計算を行った上で、共通基準によるとりまとめ様式及びデータ共有様式（資料6）の形で出力されます。

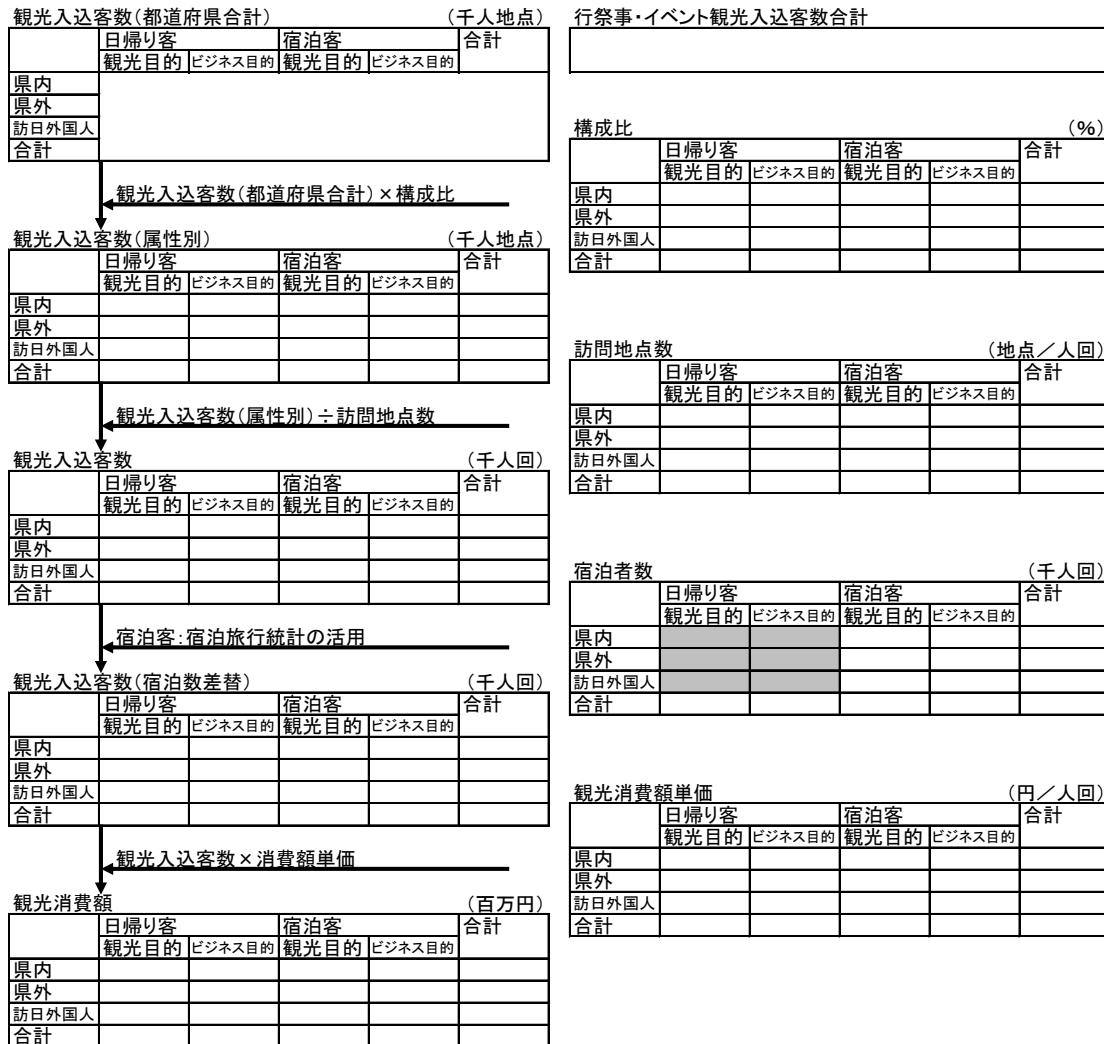


図 9 推計フロー

推計方法及び推計に必要な係数等の算出方法は、下表のとおりです。
 なお、実際の推計は支援ツールを用いると便利です。

表 6 推計方法・算出方法一覧

統計量・係数等	推計・算出方法
観光地点観光入込客数合計	観光地点別の観光入込客数の合計
構成比	観光地点パラメータ調査から推計 同行者数を含めた属性別サンプル数を観光地点の入込客数で重み付けしたシェア $\text{属性別構成比} = \frac{\text{属性別のサンプル数}}{\text{サンプル数}}$ $\text{属性別のサンプル数} = \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の属性別のサンプル数}$ $\text{サンプル数} = \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の全属性のサンプル数}$ <p> N : 調査対象地点の観光入込客数の合計 N_k : 属性 k の調査対象地点の観光入込客数の合計 m : 調査対象地点数 N_i : 第 i 調査地点の観光入込客数 n_i : 第 i 調査地点のサンプル数 n_{ik} : 第 i 調査地点の属性 k のサンプル数 </p>
観光地点観光入込客数合計 (属性別)	構成比から推計 観光地点観光入込客数合計 × 構成比 ※参考値のビジネス目的・県外・日帰りは観光庁が提供
平均訪問地点数	観光地点パラメータ調査から推計 訪問地点数を同行者数と観光地点の入込客数で加重平均 $\text{属性別平均訪問地点数} = \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \sum_{j=1}^{n_i} \text{サンプル}j\text{の属性別訪問地点数}$
観光入込客数	訪問地点数から推計 観光地点観光入込客数合計 (属性別) ÷ 平均訪問地点数
宿泊者数	宿泊観光入込客数 (補正前) は観光庁が提供 上記を属性別に観光地点パラメータ調査で補正 宿泊観光入込客数 = 宿泊観光入込客数 (補正前) ÷ 平均利用宿泊施設数 × 実家・キャンプ場等利用補正係数 属性別の平均利用宿泊施設数 = $\frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \text{第}i\text{調査地点の属性別の平均利用宿泊施設数}$ 属性別の実家・キャンプ場等利用補正係数 = $\frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \times \frac{\text{第}i\text{調査地点の属性別の宿泊者数}}{\text{第}i\text{調査地点の属性別の旅館・ホテル等利用者数}}$ 実家・キャンプ場等利用補正係数は観光庁が提供
観光入込客数 (宿泊数差替)	宿泊者数を上記数値で差替
観光消費額単価	観光地点パラメータ調査から推計 消費額を同行者数と観光地点の入込客数で加重平均 $\text{属性別観光消費額単価} = \frac{1}{N_k} \sum_{i=1}^m \frac{N_i}{n_i} \sum_{j=1}^{n_i} \text{サンプル}j\text{の属性別観光消費額単価}$ 訪日外国人単価、ビジネス目的単価は観光庁が提供
観光消費額	観光消費額単価から推計 観光入込客数 × 観光消費額単価

5 結果の整理

推計結果については、観光入込客統計調査データ共有様式に整理し、観光庁・市区町村と情報共有を行うと共に、各都道府県において公表してください。

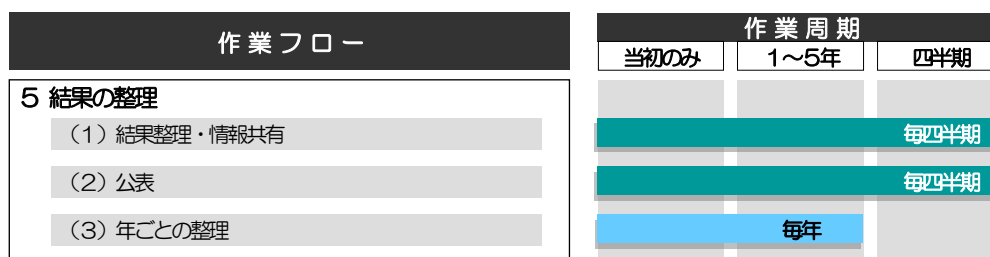


図 7 結果の整理に係る作業フロー

(1) 結果整理・情報共有 毎四半期

推計対象期間終了後5箇月以内を目処に、観光入込客統計調査データ共有様式（資料6）で結果を整理し、観光庁・市区町村と情報共有を行います。（例えば4-6月分は11月末を、年間値は翌年5月末を目処とします）

(2) 公表 毎四半期

共通基準で示されている取りまとめ様式を参考に、(1)で整理した結果を各都道府県において公表してください。統計量の推計に用いた観光地点等入込客数調査の結果が暫定値である場合は、その旨を明記した上で速報値として公表してください。

(3) 年ごとの整理 毎年

四半期別の結果を合算して暦年でまとめて公表して下さい。速報値として公表していた当該暦年の四半期別の統計量は、その後に報告された真の観光地点等入込客数の値を用いて改めて推計し、確定値として差し替えるとともに、暦年での合算にはこの確定値を用いて下さい。また、暦年でまとめて公表する時点までに報告がない観光地点等入込客数については、暫定値をそのまま確定値としてください。

なお、共通基準策定後の平成22年については1-3月分のデータがないため、年度で整理してください。

Ⅱ部 例外的な対応について

Ⅱ-1 観光地点等入込客数調査において流入地点調査を実施する場合

観光地点等入込客数調査は、観光地点ごとの入込客数を調査するものですが、従来から観光入込客数を市区町村単位で流入地点における調査により把握している場合は、個々の観光地点ごとに調査する方法に変更するためには関係者との合意を得ることに相当の時間を要する等の理由があることから、他の観光地点と同様の精度であることが確認できる場合に限り、市区町村を一つの観光地点と見なして調査しても差し支えないものとします。

この流入地点調査の具体的な方法について、以下のとおり示します。

(1) 実施するための条件

共通基準では、原則として観光地点ごとに入込客数を把握することとしていますが、例外的な対応として以下の2つの条件を満たす場合に限り、当面の間、流入地点調査により入込客数を把握することとします。

- ・ 該当市の境界を通過する全交通機関・経路を四半期別に把握していること
- ・ 以下の項目を四半期別に十分なサンプル数で把握していること

流入目的（観光・ビジネス等）
日常利用・非日常利用の別
該当市の通過率
乗車人数（自動車の場合）

これらの項目については、観光地点パラメータ調査で十分なサンプル数が確保できる場合（離島等）は同時に把握しても差し支えないものとします。

(2) 観光地点パラメータ調査方法

上記の手法により入込客数を把握している市区町村を一つの観光地点でパラメータ調査を実施する場合は、入込客が利用する交通機関（航空、鉄道等）に着目し、複数の交通施設（空港、駅等）を調査箇所として選定してください。

この場合、県内の観光地点パラメータ調査を実施する地点は10地点であっても、実際の調査箇所は10箇所よりも多くなります。

(3) 統計量の推計方法

推計における観光地点の観光消費額単価は、上記の交通手段別の入込客数で加重平均した値とします。

Ⅱ-2 観光地点パラメータ調査において補足調査を実施する場合

観光入込客統計・観光消費額統計の方針（平成20年4月ガイドライン案）においては、ビジネス目的の宿泊／日帰り別の観光消費額単価を把握するための補足調査を検討しましたが、観光庁が実施した試験調査ではビジネス宿泊目的での宿泊者については、対象施設から十分なサンプルが得られなかったことから共通基準では必須としないこととしました。

また、代替として検討した交通施設における補足調査については、ビジネス目的の消費額について一定量のサンプル数が確保できたものの、コスト負担が大きいことから、同様に必須としないこととしました。

ただし、各都道府県の事情等により、上記調査を実施する場合は、以下のとおり行ってください。

（1）宿泊施設補足調査

宿泊施設補足調査を実施する場合の調査項目及び内容は以下のとおりとします。

表 7 宿泊施設補足調査の内容

項目	内容
調査の対象とする項目	ビジネス目的の宿泊入込客の観光消費額単価。
調査の方法	宿泊施設における留置き調査とする。
調査の規模	調査項目であるビジネス目的の宿泊観光入込客の観光消費額単価を的確に把握するため、年間でビジネス目的の観光入込客 200 人・回以上の観光入込客データを把握することを目標とする。
調査施設の選定	調査項目であるビジネス目的の観光入込客の宿泊が大部分であると想定される宿泊施設 2 施設以上で実施する。調査対象の宿泊施設は 5 年間固定する。
調査日	四半期ごとに年 4 回実施する。
調査票	資料 5 の調査票（日本語版）の設問を含むものとする。 ただし都道府県及び市区町村において、上記の設問に追加することをさまたげるものではないが、回答者負担の増加による回収票数への影響等がないようにすること。
調査結果の整理	実施後、観光地点パラメータ調査のサンプル数を上回るサンプル数が得られた場合は、本統計に活用してもよい。 統計量の推計にあたっては、支援ツールの活用が可能である。

(2) 交通施設補足調査

交通施設補足調査を実施する場合の調査項目及び内容は以下のとおりとします。

表 8 交通施設補足調査の内容

項目	内容
調査の対象とする項目	ビジネス目的入込客の観光消費額単価。
調査の方法	回答の正確性を期すため、調査員による面接調査とする。
調査の規模	調査項目であるビジネス目的入込客の観光消費額単価を的確に把握するため、年間でビジネス目的入込客 100 人・回以上のビジネス入込客データを把握することを目標とする。
調査施設の選定	調査項目であるビジネス目的観光入込客の捕捉可能性が高いと考えられる主要空港、主要鉄道駅、主要高速バスターミナル等で実施する。調査対象施設は5年間固定する。
調査日	平日に実施する。
調査票	資料5の調査票（日本語版、英語版、中国語版、韓国語版）の設問を含むものとする。 都道府県及び市区町村において、上記の設問に追加することをさまたげるものではないが、回答者負担の増加、回答時間延長による回収票数への影響等がないようにすること。
調査結果の整理	実施後、観光地点パラメータ調査のサンプル数を上回るサンプル数が得られた場合は、本統計に活用してもよい。 統計量の推計にあたっては、支援ツールの活用が可能である。

II-3 北海道及び沖縄県の特例

海に囲まれ流入地点が限定される北海道・沖縄県は、運輸機関データ（航空・船舶）から、道県外からの観光入込客数（実数）を精度よく把握することが可能です。したがって、水際である空港等の交通施設におけるアンケート調査（居住地・消費額・旅行目的等を調査）から、道県外からの観光入込客数及び観光消費額単価を推計することも可能とします。

この場合、道県内の観光入込客数客に関する情報を別途把握する必要がありますが、その方法については、共通基準に従った観光地点等入込客数調査と観光地点パラメータ調査の組合せ、あるいは県内を対象とした世帯調査等があり、そのいずれでも構わないものとします。

資料

資料1 観光地点等名簿 整理項目

1-1 都道府県及び市区町村が観光地点等名簿で整理する項目

項番		項目名	属性	備考	入力区分
1	観光地点等	観光地点等名	テキスト		必須
2		観光地点等コード	コード	都道府県コード（2桁）＋ユニークな番号（7桁）	必須
3	所在地	所在地住所	テキスト		必須
4		所在地コード	コード	全国地方公共団体コード（5桁）	必須
5	緯度経度	緯度	数値	60進法で度・分・秒を入力	任意
6		経度	数値	60進法で度・分・秒を入力	任意
7	観光地点等分類		コード	大分類（1桁）＋中分類（2桁）＋小分類（2桁）	必須
8	観光入込客数の把握手法	施設種類	コード	無料＝“0” 有料＝“1”	必須
9		実数・推計別	コード	推定＝“0” 実数＝“1”	必須
10		把握期間	コード	代表期間＝“0” 全期間＝“1”	必須
11		把握方法	コード	主催者発表＝“0” 主催者発表以外＝“1”	必須
12		具体の把握方法	テキスト		任意
13	前年の観光入込客数		数値	前年度の観光入込客数を英数小文字で入力 不明の場合は“-”	必須
14	行祭事・イベント開催期間	開始日	数値	“YYMMDD” 行祭事・イベントの場合に記入。観光地点の場合は空白	必須
15		終了日	数値	“YYMMDD” 行祭事・イベントの場合に記入。観光地点の場合は空白	必須
16		開催日数	数値	行祭事・イベントの場合に記入。観光地点の場合は空白	必須
17	地域区分	地域名	テキスト	各都道府県が独自に設定する地域名	任意
18		地域区分コード	コード	各都道府県が独自に設定するコード	任意
19	集計対象分類	日常利用・非日常利用別	コード	月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分以上の施設＝“0” 月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満の施設＝“1”	必須
20		年間入込客数別	コード	前年の年間入込客数が年間1万人未満又は特定月5千人未満＝“0” 前年の年間入込客数が年間1万人以上又は特定月5千人以上＝“1”	必須
21		集計対象	コード	項番号19,20の両方が“1”の場合＝“1” 両方又は一方が“0”の場合＝“0”	必須
22	活動情報		コード	廃業＝“0” 活動中＝“1” 休業＝“2”	必須
23	観光地点名等公表の可否	名称	コード	公表不可＝“0” 公表可＝“1”	必須
24		観光入込客数	コード	公表不可＝“0” 公表可＝“1”	必須
25	連絡先	部署名等	テキスト		必須
26		担当者氏名	テキスト		必須
27		電話番号	テキスト	英数小文字 “市外局番-市内局番-番号”	任意
28		FAX番号	テキスト	英数小文字 “市外局番-市内局番-番号”	任意
29		E-MAIL	テキスト	英数小文字	任意

1-2 観光地点等名簿の作成にあたり管理者等に報告を求める項目

観光地点の管理者等に報告を求める事項について、記入様式例及び記入にあたっての留意事項を、以下のとおり示します。

(1) 記入様式例

〇〇県においては、観光に関する動向を把握するために、観光地点や行祭事・イベントについて毎年調査を実施しており、観光振興に役立つデータのとりまとめを行っています。

この調査は、当該調査を実施するにあたり、〇〇県内にどのような観光地点や行祭事・イベントがあるかを把握するために回答をお願いするものです。何卒ご協力をお願いいたします。

項目	記入欄	記入例
観光地点名又は行祭事・イベント名		〇〇温泉、〇〇祭
所在地住所		〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3
緯度経度	緯度：	〇度〇分〇秒
	経度：	〇度〇分〇秒
観光地点等分類コード		1-03-01
観光入込客数の把握手法コード		0-1-1-0
観光入込客数の把握手法		入湯税から推計
前年の観光入込客数 (人/月)	1月	1,000人
	2月	1,000人
	3月	1,000人
	4月	1,000人
	5月	1,000人
	6月	1,000人
	7月	1,000人
	8月	1,000人
	9月	1,000人
	10月	1,000人
	11月	1,000人
	12月	1,000人
	合計	12,000人
	行祭事・イベント 開催期間	開始日
終了日		10/01/03
開催日数		3日
日常利用・非日常利用別コード		1
活動情報コード		1
公表の可否コード	名称	1
	観光入込客数	1
連絡先	部署名等	〇〇〇〇
	担当者氏名	〇〇〇〇
	電話番号	0X-XXXXX-XXXXX
	FAX番号	0X-XXXXX-XXXXX
	E-MAIL	〇〇@XX.XX.JP

※観光地点、行祭事・イベントについて、それぞれ別様式でご提出ください。

(2) 記入にあたっての留意事項

項目		記入内容
観光地点名又は行祭事・イベント名		・名称のみで観光地点又は行祭事・イベントが特定できるように記載してください。単に「海水浴場」や「観光農園」、「市立水族館」、「夏祭」といった名称とせず、「〇〇浜海水浴場」や「〇〇観光農園」、「〇〇市水族館」など、固有の地点等として特定できるようにしてください。
所在地住所		・観光地点については番地まで、 行祭事・イベントについては市区町村名まで記載してください。
緯度経度		・60進法で度・分・秒を記載してください。 不明の場合は記載いただかなくても構いません。
観光地点等分類コード		・別添コード表を参照して記載してください。
観光入込客数の把握手法コード		・別添コード表を参照して記載してください。
観光入込客数の把握手法		・観光入込客数の具体的な把握方法を記載してください。
前年の観光入込客数		・前年の入込客の人数を月別に記載してください。 ・行祭事・イベントの開催期間が複数の月にまたがる場合、可能であれば月ごとに分け、分割が困難な場合はいずれかの月にまとめて記載してください。
行祭事・イベント開催期間		・行祭事・イベントの場合のみ、当該行祭事・イベントの開始日、終了日及び開催日数を記載してください。
日常利用・非日常利用別コード		・観光地点の場合のみ、利用状況を次のコードで記載して下さい。 日常利用が多い場合（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分以上）は「0」、非日常利用が多い場合（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）は「1」 ※正確な割合が分からない場合は、服装、履物、駐車場の車のナンバー等から総合的に判断してください。なお、本調査では非日常利用が多い地点等を、観光地点として集計の対象とすることとしています。
活動情報コード		・観光地点の場合のみ、活動状況（廃業、活動中、休業中別）を次のコードで記載してください。 廃業「0」、活動中「1」、休業中「2」
公表の可否	名称	・観光地点名又は行祭事・イベント名について、公表して差し支えない場合は「1」、そうでない場合は「0」を記載してください。
	観光入込客数	・観光地点名又は行祭事・イベント名別の観光入込客数について、公表して差し支えない場合は「1」、そうでない場合は「0」を記載してください。
連絡先	部署名等	・連絡担当者の所属を記載してください。
	担当者氏名	・連絡担当者のお名前を記載してください。
	電話番号 FAX番号 E-MAIL	・連絡担当者の電話番号、FAX番号、E-MAILを記載してください。

なお、観光地点分類、観光入込客数の把握方法については、コード表を添付してください。

資料2 観光地点パラメータ調査の調査員マニュアル例

1. 調査経緯と目的

〇〇県では、「観光客数」や「観光費用」等を把握するため、全国共通の基準に沿った調査を実施しています。

その一環として、観光地に訪れる観光客の皆さんを対象にアンケート調査を行います。アンケートでは、旅行の目的や滞在地・日数、観光費用等をおうかがいし、「何人くらいの人」が「どこ」を「どのくらいの予算」で観光しているかを調べます。

この結果を統計的に処理し、〇〇県の観光データを整備することが、今回の調査目的となります。

くれぐれも、対象となる観光客のみならず、協力観光地のみならずには、失礼のないように、調査にあたってください。

2. 実施機関

実施機関：〇〇県

※調査目的と実施機関を簡単に答えられるようにしておいて下さい。

3. 調査概要

■ 調査日時

平成〇年〇月〇日（〇曜日） 10:00～17:00

■ 調査場所

県内全域の指定された観光地点

■ 調査方法

ヒアリング形式（調査員が聞き取りながら記入をしていく形式です。）

調査票には、『日本語版』『英語版』『韓国語版』『中国語版（簡体字）』『中国語版（繁体字）』があります。準備しておいて下さい。

■ 回収サンプル数

調査期間中、取れるだけ回収することとします。

男女、年代はできるだけ均等に回収するのが目標ですが、回収数を優先して下さい。

4. 緊急連絡先

調査中の緊急連絡：●●（担当：●●）

5. 注意・禁止事項

- ・調査中は必ず「腕章」を着用して下さい。上着で隠れないように注意してください。
- ・調査道具一式の中にある、「プレスリリース」（＝調査内容説明の書類）を携帯し、提示の要請を受けたら、すぐに見せられるようにして下さい。
- ・調査中は、〇〇県の調査員として活動して下さい。
- ・調査位置は事前に調整をしています。勝手な判断で変更しないでください。
ただし、協力観光地の方に変更を求められた場合は速やかに移動し、後ほど●●まで電話連絡してください。
- ・トラブルを避けるため、調査以外のこと（道、お店の案内等）には極力答えず、観光施設や案内所を案内するようにして下さい。
- ・お客様の迷惑になるような言動はしないで下さい。
- ・調査位置が駐車場に隣接しているところがあります。車には十分注意をして下さい。
また、施設や店舗に出入りするお客様にも十分な配慮をお願いいたします。
- ・調査地点が屋外になるところがあります。防寒対策をしっかりと来て下さい。
- ・服装の指定はありませんが、対象者が不快に思うような服装は禁止します。
例) 穴の開いた・汚れたジーンズ、極端にすその短いスカート、汚いクツ 等
→お客様からは、みなさんも観光地のスタッフとして見られることを意識して下さい。

6. Q&A集

- Q. 何の調査をしていますか？ どの調査員ですか？
A. 「観光客アンケート」をしています。〇〇県の者です。
- Q. どうしてここが調査地点に選ばれたのですか？
A. 都道府県の観光客数統計より、無作為に抽出されています。
- Q. 対象者の個々の情報が公表されるのですか？
A. 調査結果は統計処理されるので、個人が特定されることはありません。

7. 調査の前に

- ・対象者には、きちんと挨拶をしてから調査をお願いし、終了後は御礼をして下さい。
※<参考1>協力依頼文を提示又は手渡し、調査への協力をお願いしてください。
例) こんにちは、観光地に関するアンケートを実施しております。
5分程度ですのでご協力いただけませんか？
(終了時) ありがとうございました。
- ・協力観光地の方、近隣の方に不審に思われるような行動はしないで下さい。
- ・休憩は勤務時間中に1時間を目安に取って下さい。ただし、調査員全員が一斉に休憩をとるのではなく、お客様が引けた頃を見計らって交代でとるようにして下さい。
- ・調査時間は、原則 10:00~17:00 です。お客様が途絶えたから、目標に達したからといって、仕事を早く切り上げることはしないでください。
一部、店舗の営業時間が11:00~のところがありますが、調査開始時には現地に集合し、静かに待機をするようにして下さい。リーダーさんはメンバーの取りまとめをお願いします。

8. 調査・回収上の注意

< 対象者について >

- ・年齢の設問“10歳未満”という選択肢がありますが、旅行費用をたずねる設問もありますので、基本的には一人でお金を使える方を対象としてください。
- ・明らかに、業務中の方と判断される場合は対象としないで下さい。

< 回収について >

- ・一時的に集中して回収することはしないで下さい。例) 10時台だけ80票
ただし観光地ですので、夕方になるとお客様は減少します。状況をみながら、活動してください。観光施設の方にお客様の動向を確認しておくことも重要です。時間帯で大きな変動ある調査地点は、取れるときに取っておくことも了承します。
- ・修学旅行、職場旅行等の1団体からは1票だけの回収としてください。なお、一般募集型バスツアーのような、個人客の集まりは個人客のグループ単位で重複のないように注意しながら、複数を回収して構いません。

< 記入について >

- ・途中で回答拒否になった場合は、欄外に理由を書いて、有効票と分けておいて下さい。
- ・Q8.の“観光地点”は、もれのないように、細かく区分をして下さい。
→調査前に、使用する『観光地点リスト』を、よく見ておいて下さい。
※内容は、<参考2> 調査票の注意点を見て下さい。

9. 調査が終わったら

- ・最初に調査票が入れてあったファイルに“有効票”と“無効票”(白票を含む)を分けて入れ、回収枚数に間違いがないか数えて下さい。(13時頃、午前中の分も一度まとめておくとよい。)
- ・調査終了後は忘れ物のない様に後片付けをし、付近のゴミを始末して下さい。
- ・17:00になったら、協力観光地の方に終了の挨拶をして下さい。
- ・<参考3>調査員メモを作成し、回収した調査票と共に担当者へ提出して下さい。

10. 調査フロー

- ・これまでの説明を、シミュレーションをしますので、確認して下さい。

< フロー >

- 挨拶をし、調査協力をお願いする。
↓ (了解) 人通りを確認し、通行の邪魔にならないことを確認する。
- Q1 から順に調査票を見せながら、回答を求め。(Q7まで)
↓ 対象者に、「観光地点リスト」「交通機関リスト」を見せる。
- Q8 の回答を求め。
↓ 注意) 観光地点はもれのないように、細かく区分をして下さい。
- Q9 の回答を求め。
↓ 注意) , 基本的に“1人当たりの費用”とする。
- (記入漏れがないかを確認し) 御礼をする。

11. 当日の流れと持ってくるもの

< 当日の流れ >

(9:50までに) 現地に到着、協力観光地の方に開始のあいさつをする。

★ 1回目の電話 ★ 調査員さん → ●● (担当: ●●)

会話例: 「●●調査地点の調査員●●です。無事に到着し、時間通り開始します。」

10:00 ~ 調査開始

※不安なこと、困ったことは随時 TEL して下さい。

「お客様が来ないのだけれど、場所を間違っていないか？」

「お店の方とトラブルになり、中止を求められている。」など

13:00 午前中の回収分を取りまとめる

※管理者が巡回時に、確認をして行きます。

17:00 調査終了(取りまとめ、後片付け、協力観光地の方に終了報告)

★ 2回目の電話 ★ 調査員さん → ●● (担当: ●●)

会話例: 「●●調査地点の調査員●●です。無事に終了しました。回収は105票です。」

< 持ってくるもの >

筆記用具…シャープペンを使用して記入して下さい。

画板…調査票を書く時に使用します。

電卓…調査票の金額欄を計算する時に使用します。

メガネ…細かい字があります。必要な人はお持ち下さい。

防寒具… コート(オーバー)、カイロ、マフラー等

外での調査になるところが多いです。対策はしっかりと!

昼食…調査地点の中には、近くに買い物ができないところもあります。

よく確認をして、必要なら持参して下さい。

<参考1>協力依頼文

【日本語版】

アンケート調査へのご協力をお願い —〇〇県が行う調査—

〇〇県の観光統計作成のための重要な調査です

所要時間は5分程度、個人情報は取得しません

回答は5分程度で終了します。

あなたの居住地域や、今回の旅行の訪問先、旅行に使った費用等についてお聞きします。

氏名や住所等、個人を特定する情報は取得いたしません。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。

【英語版】

Request for Cooperation to the Survey Questionnaire

— Survey conducted by 〇〇 prefecture —

○This is a survey which serves to develop a tourism statistics in pref.〇〇.

○It takes about 5 minutes to complete, and we do not require your personal information.

It takes about 5 minutes to complete.

We ask you your residential area, the destination of this travel, and the expenses you incur during your travel.

We do not require your personal information, such as name or address.

We would appreciate your taking a few minutes to complete this form.

【中国語版（簡体字）】

请协助完成调研问卷

-XX 县问卷调查-

○ 本次调研是以制作 XX 县的观光统计为目的的重要调查。

○ 完成调研问卷约需 5 分钟，且不涉及个人信息。

完成问卷大约需要 5 分钟。

我们将询问您的居住地区，本次旅行的目的地以及旅行的花费等。

我们不会索取您的姓名和住址等详细的个人信息。

请务必协助我们的调查。

【中国語版（繁体字）】

請協力完成問卷調查

-XX 縣問卷調查-

○ 本次調查是以制作 XX 縣的觀光統計為目的的重要調查。

○ 完成調查問卷約需 5 分鐘，不會涉及到您的個人信息。

完成問卷大約需要 5 分鐘。

我們將詢問您的居住地域，本次旅行的目的以及旅行的花費等。

我們不會索取您的姓名、住址等詳細的個人信息。

請務必協力我們的調查。

【韓国語版】

설문조사에 응해 주시기 바랍니다

—○○현(県)이 실시하는 조사—

○(○○)현의 관광통계를 만들기 위해 중요한 조사입니다.

○걸리는 시간은 약 5 분, 개인정보는 묻지 않습니다.

응답에 걸리는 시간은 약 5 분정도입니다.

귀하의 거주지역과, 이번 여행에서 방문하시는 장소, 드는 비용 등에 대해서 응답해 주시기 바랍니다.

성함과 주소 등 개인정보는 묻지 않습니다.

아무쪼록 협력을 부탁드립니다.

<参考2> 調査票の注意点

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名：) 海外の場合(国名：)

地元県の場合
↓
(市町村名)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性

年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかを①記入下さい。※いくつでも ②

1. 日帰り 2. 宿泊

宿泊した施設の数
↓
泊 → そのうち県内 泊 → 県内宿泊施設数 施設

＜県内宿泊施設＞

1. 実家や知人・親戚宅	2. 旅館	3. ホテル
4. ペンション・民宿	5. 保養所・研修所	6. キャンプ場
7. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	8. 別荘・リゾートマンション	
9. 会員制の宿泊施設	10. その他	

③

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス 2. 観光
3. 帰省・知人訪問 4. (1～3のどれでもない) その他

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

()人

※家族の場合
↓
1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. 一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 ()人、2回目の人数 ()人
3回目の人数 ()人、4回目以上の人数 ()人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

一緒のみなさん全員の、この県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 ()人、2回目の人数 ()人
3回目の人数 ()人、4回目以上の人数 ()人

◆9. 会員制の宿泊施設
宿泊料とは別に、会費を払うような施設

◆主な目的を1つだけ選択
例) "仕事の空き時間に立ち寄った"
→1. ビジネス

"知人の結婚式の帰り道に立ち寄った"
→4. その他

あくまで「主要な目的」を対象者に判断していただく。

◆人数の注意
職場や学校等の団体旅行は全員の人数とし、
個人参加のツアーは、家族や友人等の人数とする。

◆複数回答可
例) 家族ぐるみの旅行 → 「1」「2」
夫婦同伴での職場旅行 → 「1」「3」

◆①県内宿泊数と②県内宿泊施設数の関係
① ≥ ②

◆③宿泊施設数は複数回答可
なお、Q3の②県内宿泊施設数と③の選択数は、
次の関係になる。
② ≥ ③ 例)異なるホテルを数泊した場合

◆4. その他
趣味の集まりなど
例)俳句や登山の集まり

◆1人当たりの費用

基本として「1人当たりの費用」をたずねる。どうしても1人当たりの費用として回答いただけない場合のみ、Q5の人数の合計金額で記入する。この場合、3つ目の※印の枠内にチェックすること。なお、「1人当たり」は同行者を含めた平均の「1人当たり費用」にする。

※1人当たりとは、同行者の平均のことです。子供がいる家族旅行の場合などは、交通費は子供分も考慮して1人当たりになること。家族でまとめて買ったお土産の費用なども注意して下さい。

◆交通費の県内・県外分

交通費の「県内」「県外」は概算で対象者に分けていただく。

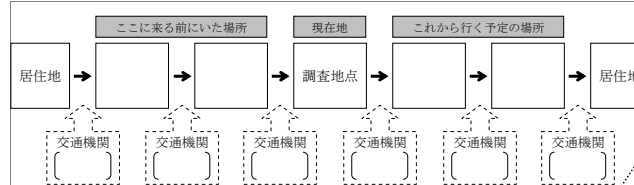
詳細がわからない時は以下の方法で分割する。

- ・鉄道・自動車は距離または時間で按分
- ・航空は県外

◆バック料金

旅行会社が企画したツアーなどで、主に旅行会社に支出するため交通費や宿泊料、入場料等が含まれているため、回答の重複がないよう注意する。また、バック料金だけの回答で、土産代や飲食代の回答漏れがないか、対象者に確認すること。

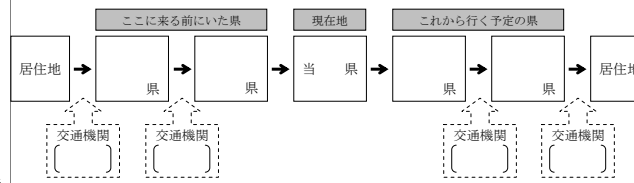
Q8. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。また、この県を訪れる前・後に立ち寄った（立ち寄る予定の）都道府県があれば記入下さい。



【表】交通機関

- ① J R新幹線 ② J R在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ 貸切バス・観光バス
- ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス ⑧ 市内電車 ⑨ タクシー・ハイヤー
- ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車 ⑫ その他

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください



※交通機関は上表から選択

Q9. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ □-表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用	
	(県内分)	円	(県外分)	円
①交通費	(県内分)	円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分)	円		
③土産代	(県内分)	円		
④飲食費	(県内分)	円		
⑤入場料	(県内分)	円		
⑥その他	(県内分)	円		
⑦バック料金			<input type="checkbox"/> 県内分のみ	<input type="checkbox"/> 県外分含む

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1				

◆Q8. の訪問する観光地と交通機関
訪問する観光地点は「観光地点リスト」から選択する。近隣にあっても、リストで分かれているものは区別をする。

交通機関は主なものとし、複数利用した場合は移動距離の長いものとする。
例)他県から新幹線で来て、最寄り駅からタクシー
→ 新幹線

◆□のチェックを忘れない

※調査票コード欄

- 都道府県…記入不要
- 調査地点ID…記入不要
- 調査年月日…記入不要
- 調査時刻…回収時刻を記入(24H表示)
- ID…記入不要

<参考3>調査員メモ

調査日

調査地点

◆天気 ()

◆観光客数について

来場者数 (概算で可) (約 人)

(その内、外国人観光客) (約 人)

◆外国人観光客について～どの地域の方がいたか (見ただ目で判断) ～
→○をつける (複数回答可)

[欧米系、アジア系、アフリカ系、ロシア系、その他 ()]

◆アンケート回収状況

回収数 (票)

断られた人数 (おおよそ) (約 人)

◆調査地点の状況等、気がついたこと

[_____]

★作業終了後チェック★ 可なら、□にし点を付けて下さい。

回収した調査票は、無効票・白票と分けて納めましたか？

調査場所のゴミは片付けましたか？

協力観光地の方に、終了の報告はしましたか？

資料3 データのクリーニング事項

Q1	<p>「都道府県名」（地元県の場合には「市区町村名」も）若しくは日本以外（海外の場合）は「国名」のどちらかに記入があるか。</p> <p>※都市名の場合は、「都道府県名」若しくは「国名」に修正。</p>
Q2	<p>「性別」「年齢」それぞれに、いずれかの選択肢が選択されているか。</p> <p>※それぞれに複数の選択がないか。</p>
Q3	<p>“1.日帰り”若しくは“2.宿泊”のどちらかに記入があるか。</p> <p>“2.宿泊”の場合は、「宿泊数」「うち県内（宿泊数）」「県内宿泊施設数」「県内宿泊施設」に記入があるか。</p> <p>※「宿泊数」「うち県内（宿泊数）」「県内宿泊施設数」「県内宿泊施設」の関係は以下のとおりとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宿泊数」\geq「うち県内（宿泊数）」 ・「うち県内（宿泊数）」\geq「県内宿泊施設数」 ・「県内宿泊施設数」\geq「県内宿泊施設」の種類数
Q4	<p>いずれかの選択肢が選択されているか。※複数の選択がないか。</p>
Q5	<p>「人数」の回答があるか。「人数」が2以上の場合「同行者」の選択肢が選択されているか。</p> <p>※「人数」と「同行者」の種類数の関係は以下のとおりとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人数」が“2”の場合、「同行者」の種類数は、“1”となる ・「人数」が“3”の場合、「同行者」の種類数は、“2”以下となる ・「人数」が“4”の場合、「同行者」の種類数は、“3”以下となる
Q6	<p>いずれかの選択肢が選択されているか。</p> <p>同行者の訪問回数が記入されているか。</p>
Q7	<p>いずれかの選択肢が選択されているか。</p> <p>同行者の訪問回数が記入されているか。</p>
Q8	<p><交通機関の回答について></p> <p>最低2つ以上の「交通機関」に記入があるか。</p> <p><地点の回答について></p> <p>最低1つ以上の「訪問地点」に記入があるか。</p> <p>※「地点」には、必ず実施の“調査地点”が含まれるか。</p> <p><立ち寄り都道府県の回答について></p> <p>調査実施県の前後に立ち寄り都道府県がある場合、その都道府県が「県」に記入があるか。</p>
Q9	<p>円での記入となっているか。</p>
調査票コード	<p>「都道府県」に記入する。</p> <p>「調査地点ID」に観光地点等コードを記入する。</p> <p>「調査年月日」に調査実施年月日を記載する。</p> <p>「調査時刻」に記載がされているか。（24H表記）</p> <p>「ID」に調査票の通し番号を付与する。</p>

資料4 観光地点パラメータ調査結果 入力項目

項番	項目名	属性	備考	
1	調査時期	数値	調査年(4桁)+四半期別(1桁) 四半期別は 1~3月="1" 4~6月="2" 7~9月="3" 10~12月="4"	
2	調査地点ID	コード	都道府県コード(2桁)+ユニークな番号(7桁)	
3	調査年月日	数値	"YYMMDD"	
4	調査時刻	数値	時(2桁)+分(2桁) 24時間表示	
5	ID	数値	調査票の通し番号	
6	Q1 都道府県名	テキスト		
7	Q1 市町村名	テキスト		
8	Q1 国名	テキスト		
9	Q2 性別	コード	男性="1",女性="2"	
10	Q2 年齢	コード	10歳未満="1",10代="2",20代="3",...80歳以上="9"	
11	Q3 日帰り-宿泊	コード	日帰り="1",宿泊="2"	
12	Q3 宿泊数	数値		
13	Q3 うち県内泊数	数値		
14	Q3 県内宿泊施設数	数値		
15	Q3 県内宿泊施設(1)	コード	選択あり="1",選択なし="ブランク"	
16	Q3 . . .			
24	Q3 県内宿泊施設(10)	コード		
25	Q4 目的	コード	ビジネス="1",観光="2",帰省="3",その他="4"	
26	Q5 人数	数値		
27	Q5 同行者(1)	コード	選択あり="1",選択なし="ブランク"	
28	Q5 同行者(2)	コード	選択あり="1",選択なし="ブランク"	
30	Q5 同行者(3)	コード	選択あり="1",選択なし="ブランク"	
31	Q5 同行者(4)	コード	選択あり="1",選択なし="ブランク"	
31	Q6 観光地の訪問が何回目か	コード	知らない="1",知っている="2"	
32	Q6 訪問が1回目	数値		
33	Q6 訪問が2回目	数値		
34	Q6 訪問が3回目	数値		
35	Q6 訪問が4回目	数値		
36	Q7 県の訪問が何回目か	コード	知らない="1",知っている="2"	
37	Q7 訪問が1回目	数値		
38	Q7 訪問が2回目	数値		
39	Q7 訪問が3回目	数値		
40	Q7 訪問が4回目	数値		
41	Q8 居住地からの交通機関	コード	交通機関コード	
	Q8 ここに来る前にいた場所(1)	コード	観光地点コード	
	Q8 . . .		左詰で入力し、未記入は"ブランク"	
	Q8 ここに来る交通機関(4)	コード	交通機関コード	
	Q8 ここに来る前にいた場所(5)	コード	観光地点コード	
	Q8 調査地点に来る交通機関	コード	交通機関コード	
	63	Q8 調査地点	コード	観光地点コード
		Q8 これから行く交通機関(1)	コード	交通機関コード
		Q8 これから行く予定の場所(1)	コード	観光地点コード
		Q8 . . .		左詰で入力し、未記入は"ブランク"
Q8 これから行く交通機関(5)		コード	交通機関コード	
Q8 これから行く予定の場所(5)		コード	観光地点コード	
Q8 居住地への交通機関		コード	交通機関コード	
64		Q8 居住地からの交通機関(1)	コード	交通機関コード
		Q8 ここに来る前にいた県(1)	コード	都道府県コード
		Q8 . . .		左詰で入力し、未記入は"ブランク"
	Q8 ここに来る交通機関(3)	コード	交通機関コード	
	Q8 ここに来る前にいた県(3)	コード	都道府県コード	
	75	Q8 当県	コード	都道府県コード
		Q8 これから行く予定の県(1)	コード	都道府県コード
		Q8 これから行く交通機関(1)	コード	交通機関コード
		Q8 . . .		左詰で入力し、未記入は"ブランク"
		Q8 これから行く予定の県(3)	コード	都道府県コード
Q8 居住地への交通機関(3)		コード	交通機関コード	
76		Q9 グループ合計チェック	コード	あり="1",なし="ブランク"
77		Q9 旅行費用	数値	
78		Q9 交通費	数値	
79		Q9 交通費(県外分)	数値	
80	Q9 宿泊費	数値		
81	Q9 土産代	数値		
82	Q9 飲食費	数値		
83	Q9 入場料	数値		
84	Q9 その他	数値		
85	Q9 バック料金	数値		
86	Q9 バック料金チェック	数値	県内分のみ="1",県外分含む="2"	

資料5 調査票関連一式

5-1 観光地点パラメータ調査票 標準様式

(日本語版)

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名： _____) 海外の場合 (国名： _____)

↓
地元県の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性

年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

→ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 → 県内宿泊施設数 _____ 施設

↑ 宿泊した施設の数 ↓

<県内宿泊施設>

- | | | |
|-----------------------------|-----------------|----------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 | 2. 旅館 | 3. ホテル |
| 4. ペンション・民宿 | 5. 保養所・研修所 | 6. キャンプ場 |
| 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 | 8. 別荘・リゾートマンション | |
| 9. 会員制の宿泊施設 | 10. その他 | |

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス 2. 観光
3. 帰省・知人訪問 4. (1～3のどれでもない) その他

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

(_____) 人

↓
2人以上の場合
→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人
3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、この県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人
3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q8. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
また、この県に訪れる前・後に立ち寄った（立ち寄る予定の）都道府県があれば記入下さい。

	ここに來る前にいた場所	現在地	これから行く予定の場所	
居住地	→	→	→	→
[]	[]	調査地点	[]	[]
[]	[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]	[]
<p>【表】交通機関</p> <p>① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ 貸切バス・観光バス</p> <p>⑥ 高速バス ⑦ 市内バス ⑧ 市内電車 ⑨ タクシー・ハイヤー</p> <p>⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車 ⑫ その他</p>				

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに來る前にいた県	現在地	これから行く予定の県	
居住地	→	→	→	→
[]	県	当 県	県	[]
[]	[]	[]	[]	[]
[]	[]	[]	[]	[]
<p>※交通機関は上表から選択</p>				

Q9. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください
1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ← 表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦パック料金			円
			<input type="checkbox"/> 県内分のみ もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

(英語版)

Q 1. Where do you live? If you live in Japan, please write your prefecture of residence. If you live outside Japan, please write your country of residence.

(Prefecture)	If outside Japan (Nation)
---------------	----------------------------

Q 2. Please inform us about your sex and age.

Sex	:	1. Male	2. Female			
Age	:	1. Under 10	2. 10s	3. 20s	4. 30s	5. 40s
		6. 50s	7. 60s	8. 70s	9. 80s or over	

Q 3. Is this a day-trip or an overnight trip? In the case of an overnight trip, how many nights do you stay? How many nights do you stay and how many lodging facilities do you use in this prefecture? What kind of accommodation do you use in this prefecture? ※ multiple-choice

1. <u>Day-trip</u>	2. <u>Overnight</u>		
(Number of nights: ; including nights inside the prefecture.			
Number of lodging facilities inside the prefecture: facilities)			
Accommodation inside the prefecture			
(1. Parents', acquaintance's, or relative's home			
2. Japanese-style inn		3. Hotel	4. Pension, tourist home
5. Recreation facility, training institute			
6. Campsite		7. Car (not at a campsite) or transportation facility	
8. Villa, resort condominium		9. Member-only accommodation	
10. Other)			

Q 4. What is the main purpose of your trip? ※Please choose only one item.

1. Business	2. Tourism
3. Returning home · Visiting Friend & Relative	4. Other (If not any of 1-3)

Q 5. How many people are you traveling with? And who are they? Please fill out the number of people including yourself and select the item showing who they are. ※ Please count in babies and children.

() people			
(1. Family	2. Friends	3. Group tour of your workplace or school	4. Other)

Q 6. Do you know how many times have your companions visited this spot? If you know, please fill out the number of your companions including yourself in the blanks below.

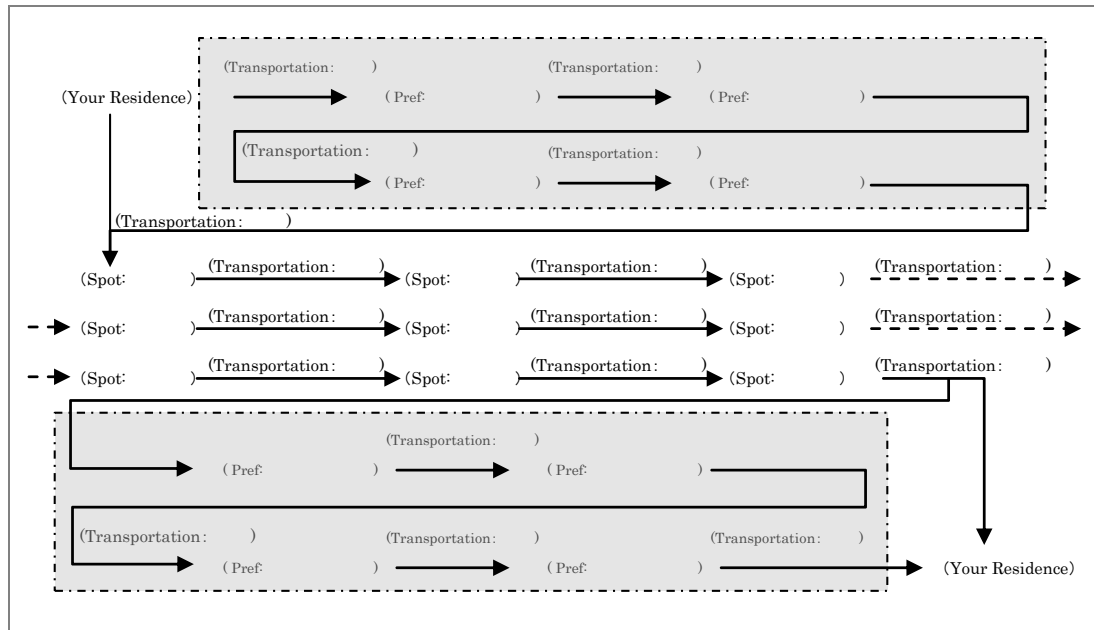
1. No	2. Yes	→ the first time () , the second time ()
		the third time () , the fourth time ()

Q 7. Do you know how many times have your companions visited this prefecture? If you know, please fill out the number of your companions including yourself in the blanks below.

※Please skip this question if you live in this prefecture.

1. No	2. Yes	→ the first time () , the second time ()
		the third time () , the fourth time () .

Q 8. What transportation do you use in your trip? Please fill out and complete a diagram below including the spots you are going to visit. ※Please refer to the attached list for tourist spots and transportation facilities



Q 9. Please list a breakdown, including the amount you will spend later. The transportation expenses may include highway tolls and parking fees. Please tell us the amount you spent for entering this prefecture from outside the prefecture/the place of your residence. If you are on a package tour, please fill in “Package costs” and tell us whether the expenses are only used inside this prefecture or used both inside and outside this prefecture. ※If you are on a family trip and it is difficult to calculate the expenses per person, or if you don't have enough time to do so, you can put the total expenses of your group as mentioned at Q5. (In that case, please check the box in the sentence immediately below)

If the answers inside this frame refer to the total expenses of your group mentioned at Q5, please check →

Travel expenses (per person) inside the prefecture : () yen

Transportation : (Inside the prefecture yen
Outside the prefecture yen)

Accommodation : (Inside the prefecture yen)

Souvenirs : (Inside the prefecture yen)

Food and drink : (Inside the prefecture yen)

Admission fees : (Inside the prefecture yen)

Other : (Inside the prefecture yen)

Package costs : () yen

→ Inside the prefecture only or Both inside and outside the prefecture

Thank you very much for your cooperation.

※調査票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

Q 8. 请填写您在本次旅游时游览的地点以及移动时所用的交通工具。也请告知您接下来准备访问的地点。
 ※观光地见附表一览表，交通工具请参照下表选择相应的代号。

另外，也请填写您访问本县之前以及离开本县之后经过（或者将要访问）的都道府县。

		之前您到过的观光地		当前地点		之后准备访问的观光地							
居住地	→		→		→	调查地点	→		→		→	居住地	
		交通工具			交通工具			交通工具			交通工具		

【附表】交通工具

① J R 新干线	② J R 在来线	③ 私铁，地铁	④ 轻轨	⑤ 包车，观光巴士
⑥ 高速巴士	⑦ 市内巴士	⑧ 市内电车	⑨ 出租车等	
⑩ 租赁车辆	⑪ 自家车，公司用车或公用车	⑫ 其他		

除本县之外，您还经过了哪些都道府县

		之前您到过的县		当前地点		之后您想访问的县							
居住地	→	县	→	县	→	本县	→	县	→	县	→	居住地	
		交通工具			交通工具			交通工具			交通工具		

※交通工具请从上表选择号码。

Q 9. 请告诉我们您本次的旅行花去的总费用。（包括之后的预算）
 并请在下表的各栏里填写各项的人均花费。

- ※ 交通费包括高速公路费，汽油费和停车费用，按县内和县外分开填写。
- ※ 若您本次是跟团旅行，请告诉我们您填写的费用是在本县内的花费，还是整个行程的花费。
- ※ ← 如果您在下表各栏内填写的是所有同行者的总花费，请在左边的方框内打钩。

	花 费	花 费
① 交通	(县内) 日元	(县外) 日元
② 住宿	(县内) 日元	
③ 纪念品	(县内) 日元	
④ 饮食	(县内) 日元	
⑤ 门票	(县内) 日元	
⑥ 其他	(县内) 日元	
⑦ 跟团费用		日元
		<input type="checkbox"/> 本县内 或者 <input type="checkbox"/> 整体行程

☆☆ 本次问卷调查结束。非常感谢您的合作。☆☆

※調査票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

(繁体字中国語版)

Q1・請問您居住在什麼地方？日本國內的遊客請填寫您所在的都道府縣名，國外的遊客請填寫您的國家。
另外，本次調查區域內的當地遊客請填寫您居住的市町村名。

(都道府縣名：_____)	外國遊客(國家：_____)
本地遊客 → (市町村名 _____)	

Q2・請選擇您的年齡和性別。※年齡，性別均為單選

性別：	1・男性	2・女性			
年齡：	1. 10歲以下	2. 10歲~20歲	3. 20歲~30歲	4. 30歲~40歲	5. 40歲~50歲
	6. 50歲~60歲	7. 60歲~70歲	8. 70歲~80歲	9. 80歲以上	

Q3・請問您本次的旅行是一日遊還是短期旅行。※單選
短期旅行的遊客，請問您預計的旅行天數，在本縣內留宿的天數以及留宿場所的總數。
另外，請選擇您在本縣留宿時的場所和設施的種類。※可多選

1. 一日遊	2. 短期旅行	留宿場所的總數
	→ 留宿 _____ 晚	→ 其中在本縣內 _____ 晚
		⇒ 縣內留宿場所總計 _____ 處

< 在本縣內使用的留宿場所 >

1・老家或親朋好友家	2・旅館	3・賓館
4・民宅	5・保養所，研修所	6・野營地
7・(野營地之外)車輛等交通工具內	8・別墅，度假公寓	
9・會員制的住宿設施	10・其他	

Q4・請問您本次旅行的目的是?(單選)

1・商務	2・觀光
3・探親・訪友	4・(非1~3)其他

Q5・包括您在內，請問本次旅行您和誰同行，共計幾位遊客?※包括孩童和嬰兒

(_____)人
2人以上 → 1. 家人 2. 朋友 3. 公司、學校的集體旅行 4. 其他

Q6・請問您是否瞭解本次旅遊團全體成員是第幾次來現在的觀光景點旅遊? ※總人數應與Q5一致。

1・不瞭解	2・瞭解 → 第一次來的人數：(_____)人、第二次來的人數：(_____)人
	第三次來的人數：(_____)人、第四次以上來的人數：(_____)人

Q7・(僅請不是住在本縣的遊客回答)

請問您是否瞭解本次旅遊團全體成員是第幾次來本縣旅遊? ※總人數應與Q5一致。

1・不瞭解	2・瞭解 → 第一次來的人數：(_____)人、第二次來的人數：(_____)人
	第三次來的人數：(_____)人、第四次以上來的人數：(_____)人

Q8. 請填寫您在本次旅遊時遊覽的地點以及移動時所用的交通工具。也請告知您接下來準備訪問的地點。
 ※觀光地見附表一覽表，交通工具請參照下表選擇相應的代號。

另外，也請填寫您訪問本縣之前以及離開本縣之後經過（或者將要訪問）的都道府縣。

		之前您到過的觀光地		當前地點		之後準備訪問的觀光地							
居住地	→		→		→	調查地點	→		→		→	居住地	
		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕	

【附表】交通工具

①JR 新幹線	②JR 在來線	③私鐵，地鐵	④輕軌	⑤包車，觀光巴士
⑥高速巴士	⑦市內巴士	⑧市內電車	⑨計程車等	
⑩租賃車輛	⑪自家車，公司用車或公用車	⑫其他		

除本縣之外，您還經過了哪些都道府縣

		之前您到過的縣		當前地點		之后您想訪問的縣							
居住地	→	縣	→	縣	→	本縣	→	縣	→	縣	→	居住地	
		交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕				交通工具 〔 〕		交通工具 〔 〕			

※交通工具請從上表選擇號碼。

Q9. 請告訴我們您本次的旅行花去的總費用。（包括之後的預算）

並請在下表的各欄裡填寫各項的人均花費。

- ※ 交通費包括高速公路費，汽油費和停車費用，按縣內和縣外分開填寫。
- ※ 若您本次是跟團旅行，請告訴我們您填寫的費用是在本縣內的花費，還是整個行程的花費。
- ※ ← 如果您在下表各欄內填寫的是所有同行者的總花費，請在左邊的方框內打鉤。

	花 費		花 費	
	(縣內)	日元	(縣外)	日元
①交通				
②住宿				
③紀念品				
④飲食				
⑤門票				
⑥其他				
⑦跟團費用				日元
			<input type="checkbox"/> 本縣內 或者 <input type="checkbox"/> 整體行程	

☆☆ 本次問卷調查結束。非常感謝您的合作。☆☆

※調查票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

(韓國語版)

Q1. 택은 어디십니까? 일본에 계시면 都道府県명을, 해외에 계시면 국가를 쓰십시오.

(都道府県명 : _____)	해외이라면 (국가 : _____)
이 지방이라면 → (市町村명 _____)	

Q2. 성별과 연령의 해당부분을 동그라미로 두르십시오. ※각각 하나씩.

성별	: 1. 남성	2. 여성			
연령	: 1. 10세 미만	2. 10대	3. 20대	4. 30대	5. 40대
	6. 50대	7. 60대	8. 70대	9. 80세 이상	

Q3. 이번 여행은 당일치기입니까? 혹은 숙박입니까? ※하나만 동그라미로 두르십시오.
숙박하시면 몇박입니까? 그리고 이 현내(県内)에서는 며칠간·몇 개의 시설에서 숙박하셨습니다?
또한 이 현내(県内)에서는 어떠한 시설에서 숙박하셨습니다? ※몇개도.

1. 당일치기	2. 숙박	숙박한 시설 수
	→ 숙박 수 _____ 박	→ 이 안에 현내 _____ 박 ⇒ 현내 숙박시설 수 _____ 시설

<현내(県内)숙박시설수>

1. 실가와 친구·친척택	2. 여관	3. 호텔
4. 펜션·민박	5. 연수원	6. 캠프장
7. (캠핑이외의) 차중박·교통기관내에서의 숙박	8. 별장·리조트형 아파트	
9. 회원제 숙박시설	10. 기타	

Q4. 이번 여행의 주요 목적은 무엇입니까? ※하나만 동그라미로 두르십시오.

1. 비즈니스	2. 관광		
3. 귀성·친구방문	4. (1~3 이외) 기타		

Q5. 귀하를 포함해서 몇 명에서, 누구와 함께 여행을 했습니까? ※유아와 어린 아이도 포함

(_____) 명
2 사람이상이라면 → 1. 가족 2. 친구 3. 직장·학교등의 단체여행 4. 기타

Q6. 함께 여행하시는 전원을 포함해, 현재 여행중이신 관광지는 몇번째 방문하신 것입니까?

※회답 인원수 합계는 Q5 과 동일한 방법으로 해주십시오.

1. 모름	2. 알고 있음→ 1 번째 방문 인원수 (_____) 명, 2 번째 방문 인원수 (_____) 명
	3 번째 방문 인원수 (_____) 명, 4 번째 방문 인원수 (_____) 명

Q7. (현(県) 외부의 거주자만 답해 주십시오.)

함께 여행하는 분들 전원을 포함해, 현재 여행중이신 현(県)이 몇번째 방문하신 것입니까?

※회답 인원수 합계는 Q5 과 동일한 방법으로 해주십시오.

1. 모름	2. 알고 있음→ 1 번째 방문 인원수 (_____) 명, 2 번째 방문 인원수 (_____) 명
	3 번째 방문 인원수 (_____) 명, 4 번째 방문 인원수 (_____) 명

Q8. 이번 여행에서 방문한 都道府県·현내(県内)의 지역과 이동하신 교통기관은 무엇입니까? 이제부터 방문하실 지역에 대해서도 쓰십시오. ※관광지는 일람표를 참조해 주십시오. 교통기관은 아래표의 번호를 적으십시오.

또한, 이현(県)을 방문하신 이전·이후에 방문하신(방문하실 예정의) 都道府県이 있으시면 적으십시오.

	이미 방문하신 곳		현재지		앞으로 방문하실 곳	
거주지	→	→	조사지점	→	→	거주지
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

【표】 교통기관

① J R 신간선	② J R 재래선	③ 사철·지하철	④ 모노레일	⑤ 전세버스·관광버스
⑥ 고속버스	⑦ 시내버스	⑧ 시내전차	⑨ 택시·하이어	
⑩ 렌터카	⑪ 자가용, 회사용·공용차	⑫ 기타		

이 현(県)이외에 방문하신(방문하실) 都道府県이 있으시면 적으십시오.

	이전에 계신 현(県)		현재지		앞으로 가실 예정의 현(県)	
거주지	→	현	→	당 현	→	현
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

※교통기관은 교통기관의 표에서 선택

Q9. 이번 여행의 비용 (앞으로 쓸 예정의 비용도 포함) 을 가르쳐 주시기 바랍니다.

1인당의 비용을, 아래에 항목별로 적으십시오.

※ 교통비는 고속도로비와 기름값, 주차비를 포함하고 현외(県外)·현내(県内)분을 나누어 기입

※ 투어로 오신 분은 현내(県内)분의 비용만 쓰실지, 현외(県外)분의 비용도 포함할지 선택.

※ ←회답이 그룹의 합계이라면 √표를 하시오.

	사용비용	사용비용	
① 교통비	(현내분) ¥	(현외분)	¥
② 숙박비	(현내분) ¥		
③ 선물비	(현내분) ¥		
④ 음식비	(현내분) ¥		
⑤ 입장료	(현내분) ¥		
⑥ 기타	(현내분) ¥		
⑦ 투어금액			¥
		↑ <input type="checkbox"/> 현내분만 혹은 <input type="checkbox"/> 현외분 포함	

☆☆ 조사내용은 이상입니다. 감사합니다. ☆☆

※調査票コード

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

5-2 観光地点パラメータ調査票の解説

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____) 海外の場合(国名: _____)

↓
地元県の場合
→ (市町村名 _____)

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性

年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ
宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊

↓

宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設

↑ 宿泊した施設の数 ↓

<県内宿泊施設>

1. 実家や知人・親戚宅	2. 旅館	3. ホテル
4. ペンション・民宿	5. 保養所・研修所	6. キャンプ場
7. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	8. 別荘・リゾートマンション	
9. 会員制の宿泊施設	10. その他	

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス 2. 観光
3. 帰省・知人訪問 4. (1～3のどれでもない) その他

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

(_____)人

↓ 2人以上の場合 ↓

→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目的人数 (_____)人、2回目的人数 (_____)人
3回目的人数 (_____)人、4回目以上的人数 (_____)人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、この県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目的人数 (_____)人、2回目的人数 (_____)人
3回目的人数 (_____)人、4回目以上的人数 (_____)人

Q1. 都道府県／海外【統計】

属性区分を把握する設問です。(県内、県外、訪日外国人を把握します)

地元県・市町村【補助】

回答者を確認し、Q8. 周遊状況、9. の交通費などでの回答の信頼度を上げるための設問です。

Q2. 性別・年齢【共有】

回答者を確認し、回答の信頼度を上げるための設問です。

(共有様式で整理します。回答者属性に偏りがいないか等を確認できます。)

Q3. 日帰り・宿泊、うち県内【統計】

属性区分を把握する設問です。県内に宿泊した人が、「宿泊客」です。

注) 旅行自体が宿泊を含むものであっても、県内に宿泊していない(他県泊の)場合は「日帰り客」です。

県内宿泊施設数【統計】

宿泊旅行統計調査の補正を行うための「平均利用宿泊施設数」を把握する設問です。宿泊施設種類と併せて分析します。宿泊旅行統計調査の対象施設への宿泊者に限定して、平均利用宿泊施設数を算定します。

県内宿泊施設種類【統計】

宿泊旅行統計調査の補正を行うための「実家・キャンプ場等利用補正係数」を把握する設問です。宿泊旅行統計調査の対象施設の宿泊者と他の施設の宿泊者の割合を算定します。

注) 宿泊旅行統計調査の対象は、2. 旅館、3. ホテル、4. ペンション・民宿です。

Q4. 旅行目的【統計】

属性区分を把握する設問です。(1. ビジネスと回答した人は「ビジネス目的兼観光」、2. 観光以降を回答した人は「観光目的」です)

注) 観光地点での回答結果であるため、1. ビジネスと回答した人は「ビジネス目的兼観光」となります。

Q5. 回答者を含む同行者数【統計】

サンプル数を把握する設問です。Q2. 以外の設問の回答は、観光消費額単価を含めて、同行者全て同じものとして(=同行者数倍して)、集計・分析に用います。同行者数の合計がサンプル数です。

同行者種類【補助】

同行者数に対する回答の信頼度を上げるための設問です。

(例えば、回答者のグループが一般ツアーか、団体旅行かを確認することにより、同行者数に対する誤解を防ぐことができます。)

Q6. 観光地点リピート回数【参考】

Q7. 都道府県リピート回数【参考】

観光施策上重要なリピート率を把握する設問です。同行者全てについて把握できますので、他のパラメータと同様に、入込客数を用いて、観光地点全体、都道府県全体に拡大して適用することができます。

Q8. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。また、この県を訪れる前・後に立ち寄った（立ち寄る予定の）都道府県があれば記入下さい。

	ここに来る前にいた場所		現在地	これから行く予定の場所		
居住地	□	□	調査地点	□	□	居住地
	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関	交通機関
	()	()	()	()	()	()

【表】交通機関

① J R新幹線	② J R在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに来る前にいた県		現在地	これから行く予定の県		
居住地	県	県	当 県	県	県	居住地
	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	交通機関	交通機関		交通機関	交通機関	
	()	()		()	()	

※交通機関は上表から選択

Q9. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がバック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ □←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用	
	(県内分)	円	(県外分)	円
①交通費	()	円	()	円
②宿泊費	()	円	()	円
③土産代	()	円	()	円
④飲食費	()	円	()	円
⑤入場料	()	円	()	円
⑥その他	()	円	()	円
⑦バック料金	()	円	()	円
			↑ □県内分のみ もしくは □県外分含む	

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID

Q8. 訪問地点（数）【統計】

平均訪問地点数を把握する設問です。観光地点名（番号）は統計量の推計には不要ですが、回答のしやすさ及び信頼度を上げるために一覧表「訪問地点リスト」をみながら回答してもらいます。

注）記入時に「訪問地点リスト」にない地点を、「その他」として扱うことはしません。訪問地点リストにない観光地点の入込客数は推計の対象にならないためです。

交通機関【補助】

訪問地点に関する回答の信頼度を上げるための設問です。

回答者の記憶を確認しながら順番に回答してもらうことで、正確な回答を得ることに役立ちます。

注）交通機関の種類は適宜取捨選択、追加して構いません。

訪問都道府県【共有】

都道府県間の重複を排除するパラメータを把握する設問です。

（都道府県単位での統計量の推計には不要ですが、共有様式で整理します）

注）複数の都道府県を周遊した観光客の状況を把握し、都道府県単位の観光入込客数の重複を排除するためのデータです。

Q9. 観光消費額単価【統計】

県内での観光消費額単価を把握する設問です。

①交通費・県外分の金額は含めずに推計します。また、⑦パック料金「県外分含む」に回答があった場合は、観光消費額単価の全ての回答で県外分が区分できないために対象から除いて推計します。

注）十分な回答時間がとれず、1人当たりの計算ができない場合があります。グループ合計の費用しか書き取れなかった場合は、□にチェックして下さい（支援ツールでは、推計時に自動的に1人当たりに換算します）。

注)

【統計】 統計量の推計に活用

【共有】 共有様式に記載

【補助】 回答の精度向上に活用

【参考】 参考・レポート率把握

資料6 観光入込客統計調査データ共有様式

○基本情報

※テキスト入力

データ対象期間

年	
四半期	

データ作成

作成者	都道府県
	部署
作成時点	
暫定値/確定値	

○共有データ

※観光地点等/パラメータ調査の実施年月日・天候・特記事項はテキスト入力、それ以外は数値入力

都道府県別観光地点数、行祭事・イベント数

		観光地点							行祭事・イベント
単位	範囲	総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
地点	-								

都道府県別観光地点、行祭事・イベント観光入込客数(合計)

		観光地点							行祭事・イベント
単位	範囲	総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
千人地点	四半期								
千人地点	月別								
千人地点	月別								
千人地点	月別								

都道府県別観光目的の入込客数(訪日外国人除く。)

		総数	宿泊		日帰り	
千人回	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別訪日外国人入込客数

		総数	宿泊		日帰り	
千人回	四半期	宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数	観光

都道府県別ビジネス目的の入込客数

		総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
千人回	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別観光目的観光消費額単価(訪日外国人除く。)

		総数	宿泊		日帰り	
円/人回	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別訪日外国人観光消費額単価

		総数	宿泊		日帰り	
円/人回	四半期	宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数	観光

都道府県別ビジネス目的観光消費額単価

		総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
円/人回	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別観光目的観光消費額(訪日外国人除く。)

		総数	宿泊		日帰り	
百万円	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別訪日外国人観光消費額

		総数	宿泊		日帰り	
百万円	四半期	宿泊総数	観光	ビジネス	日帰り総数	観光

都道府県別ビジネス目的観光消費額

		総数	宿泊		日帰り (ビジネス目的兼観光)	
百万円	四半期	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県内

都道府県別観光地点類型中分類別観光地点パラメータ調査地点数

		観光地点						
単位	範囲	総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他
地点	四半期							

観光地点パラメータ調査結果

		実施年月日	天候	特記事項	サンプル数(人)	平均同行者数(人)	1人当たり平均訪問地点数(地点)	1人当たり平均消費額(円)	1人当たり平均訪問都道府県数(箇)
	四半期								

		性別回答者数		年代別回答者数								
単位	範囲	男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
人	四半期											

		目的別サンプル数				居住地別サンプル数		
単位	範囲	観光	ビジネス兼観光	帰省兼観光	その他兼観光	県内	県外	訪日外国人
人	四半期							

観光入込客統計に関する共通基準 調査要領

発行 平成 25 年 3 月

編集 国土交通省観光庁参事官（観光経済担当）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 3 号

電話 直通 03（5253）8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>
